

色麻町個別施設計画



令和 3 年 3 月

色 麻 町

目次

第 1 章 計画の概要	1
1 計画の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	3
第 2 章 計画対象施設	4
1 対象施設の数量	4
2 対象施設一覧	5
3 築年数別整備状況	10
第 3 章 施設の状態等の調査	11
1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成）	11
2 施設カルテの見方	12
第 4 章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）	13
1 行政施設 <21 施設>	13
2 町民文化系施設 <24 施設>	35
3 スポーツ・レクリエーション施設 < 7 施設>	59
4 保健・福祉施設 < 2 施設>	69
5 子育て支援施設 < 3 施設>	71
6 産業系施設 < 5 施設>	74
7 インフラ関連施設 <11 施設>	79
8 その他公共施設等 < 6 施設>	90
第 5 章 対策の優先順位の考え方	96
1 優先順位の考え方	96
第 6 章 対策の実施方針	97
1 施設点検の基本方針	97
2 長寿命化の基本方針	99
3 対策費用の試算	102

第 1 章 計画の概要

1 計画の背景と目的

わが国では、高度経済成長期における急激な人口増加と社会環境の変化に伴い、教育施設、集会施設などの公共施設や道路・橋梁・上下水道などのインフラ施設の整備が進められてきました。しかし、その当時から建築された公共施設等の多くが築 30 年以上経過し、現在、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。

一方で、多くの地方公共団体において財政状況が一層厳しさを増していくことに加え、人口減少や少子高齢化等の進行に伴う社会経済情勢の急激な変動により、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。そのため、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点に立って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置や有効活用を進めていく必要があります。

このような中、国においては、平成 25 年（2013 年）11 月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）を策定し、公共施設等の老朽化対策への取り組みを始めました。また、平成 26 年（2014 年）4 月には、地方公共団体に対して「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」を通知し、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しました。

本町においても全国的な傾向と同様に、公共施設等の老朽化が進んでいる状況にあり、これらの維持管理に要する経費や大規模改修・建替え等に必要な経費は、今後の町財政にとって大きな負担となることが予想されます。そのため、人口や財政規模に応じた質・量ともに適正な公共施設等の配置とその計画的な保全を推進することをとおして、将来にわたって持続可能な行財政運営を維持していく必要があります。

また一方で、時代の変化や町民ニーズの高度化・多様化への対応、災害対策の強化、ユニバーサルデザイン化・バリアフリー化、環境への配慮など、安全・安心で暮らしやすいまちづくりとの整合を図りながら、公共施設等を総合的かつ計画的にマネジメントしていくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、本町では、今後の人口や財政状況等の見通しに関する把握・分析と、公共施設等の現状や将来にわたって必要な更新費用等の調査・検討を重ねた上で、公共施設等の維持管理に関する基本方針等を盛り込んだ「色麻町公共施設等総合管理計画」（以下、「公共施設等総合管理計画」という）を平成 29 年（2017 年）3 月に策定しました。

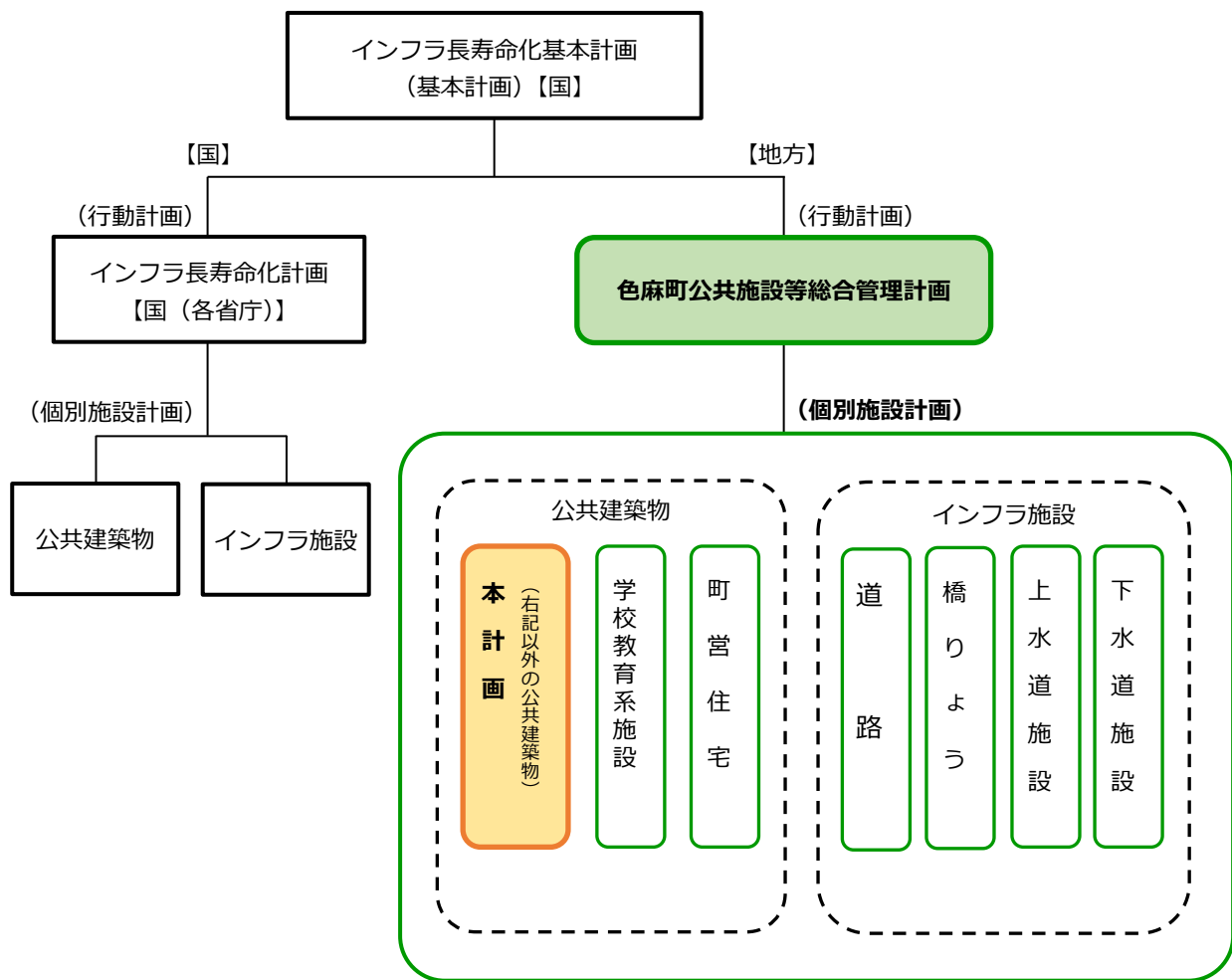
本計画は、公共施設等総合管理計画で定めた基本方針に基づき、計画的かつ全庁的な公共施設マネジメントに取り組むべく、個別施設ごとの現状と課題の整理及び今後の方向性等を検討し、各施設の具体的な対応方針を定める「個別施設計画」として策定したものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、公共施設等総合管理計画の下位計画として、国のインフラ長寿命化基本計画の体系における「個別施設計画」として位置づけます。

本計画では、公共施設等総合管理計画に示した公共建築物のうち、別途長寿命化計画を策定済みの「学校教育系施設」（小学校・中学校・給食センター）、「町営住宅」を除く全ての施設を対象とします。

<計画の位置づけ>



3 計画期間

本計画の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間との整合性の観点から、令和3年度（2021年度）から令和8年度（2026年度）までの6年間とします。

また、本計画は、公共施設等総合管理計画及び各課の個別計画や事業計画との整合を図るとともに、制度改正や財政状況・地域環境の変化等、計画の前提条件に変更が生じた場合には、必要に応じて適宜見直しを行います。

なお、対策費用の試算期間は、長期的な行財政運営の参考とするため40年とします。

<計画期間>

計 画	H28 2016 年度	H29 2017 年度	H30 2018 年度	R1 2019 年度	R2 2020 年度	R3 2021 年度	R4 2022 年度	R5 2023 年度	R6 2024 年度	R7 2025 年度	R8 2026 年度
色麻町公共施設等 総合管理計画 (計画期間：10年間)	策定	計画期間：H29（2017）～R8（2026） ※必要に応じて見直し									
色麻町個別施設計画 (計画期間：6年間)					策定	計画期間：R3（2021）～R8（2026） ※必要に応じて見直し					

第2章 計画対象施設

1 対象施設の数量

本計画で扱う対象施設は、全 79 施設（130 棟）で延床面積の合計は 31,520.58 ㎡です。

なお、施設分類は、公共施設等総合管理計画の分類に基づきますが、施設数・建物数及び延床面積は令和2年度（2020年度）末時点の固定資産台帳を基に集計しています。

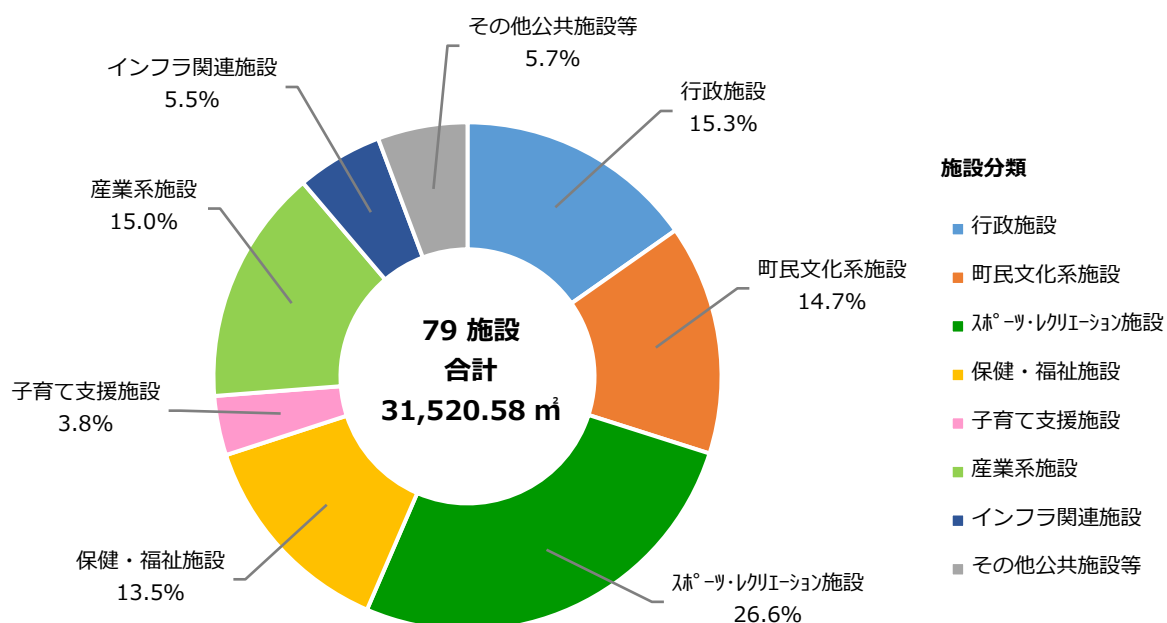
<対象施設の数及び面積等>

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類		施設数	建物（棟）数	延床面積（㎡）	面積割合
公共建築物	行政施設	21	27	4,808.19	15.3%
	町民文化系施設	24	31	4,619.54	14.7%
	スポーツ・レクリエーション施設	7	26	8,373.61	26.6%
	保健・福祉施設	2	3	4,258.72	13.5%
	子育て支援施設	3	5	1,191.97	3.8%
	産業系施設	5	10	4,734.31	15.0%
	インフラ関連施設	11	19	1,730.98	5.5%
	その他公共施設等	6	9	1,803.26	5.7%
合 計		79	130	31,520.58	

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<施設分類別延床面積割合>



2 対象施設一覧

本計画の対象施設の一覧を下表に示します。

＜対象施設一覧①＞

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m ²)
行政施設	1	色麻町役場	庁舎	1978	鉄筋コンクリート	2,940.66
			車庫（SYK）	1994	木造	65.00
			車庫（役場）	1994	鉄骨造	371.70
			倉庫	1978	鉄筋コンクリート	66.00
			プロパン庫	1978	コンクリートブロック	6.50
			ポンプ室	1978	コンクリートブロック	12.00
			ボイラー室	1978	コンクリートブロック	28.00
	2	役場分庁舎（建設水道課）	役場分庁舎	1986	木造	264.99
	3	除雪車車庫（建設水道課）	除雪車車庫	2013	鉄骨造	499.00
	4	倉庫（産業振興課）	倉庫	1974	鉄骨造	55.50
	5	消防ポンプ格納庫（北大村）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	6	消防ポンプ格納庫（平沢）	消防ポンプ格納庫	1999	鉄骨造	25.91
	7	消防ポンプ格納庫（南大村）	消防ポンプ格納庫	1999	鉄骨造	25.91
	8	消防ポンプ格納庫（道命）	消防ポンプ格納庫	2001	鉄骨造	25.91
	9	消防ポンプ格納庫（袋）	消防ポンプ格納庫	1996	鉄骨造	24.75
	10	消防ポンプ格納庫（上黒沢）	消防ポンプ格納庫	1998	鉄骨造	25.91
	11	消防ポンプ格納庫（上郷）	消防ポンプ格納庫	2001	鉄骨造	9.90
	12	消防ポンプ格納庫（小栗山）	消防ポンプ格納庫	2010	鉄骨造	24.12
	13	消防ポンプ格納庫（志津）	消防ポンプ格納庫	2001	鉄骨造	25.91
	14	消防ポンプ格納庫（高根）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	15	消防ポンプ格納庫（向町）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	16	消防ポンプ格納庫（清水）	消防ポンプ格納庫	1986	鉄骨造	24.75
	17	消防ポンプ格納庫（宿）	消防ポンプ格納庫	1975	鉄筋コンクリート	104.40
	18	消防ポンプ格納庫（下高城）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	19	消防ポンプ格納庫（王城寺）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	20	消防ポンプ格納庫（下黒沢）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
	21	消防ポンプ格納庫（一の関）	消防ポンプ格納庫	2002	鉄骨造	25.91
行政施設	小計	21 施設	27 棟			4,808.19

第2章 計画対象施設

<対象施設一覧②>

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m ²)
町民文化系施設	22	下黒沢生活共同利用センター	集会所	1977	木造	138.24
	23	北大集会所	集会所	2018	木造	160.25
			倉庫	1985	鉄骨造	15.16
	24	平沢農業担い手センター	集会所	1980	木造	165.36
	25	二反田集会所	集会所	2010	木造	99.37
	26	南大村生活共同利用センター	集会所	1976	木造	164.42
			倉庫	1975	鉄骨造	9.90
	27	道命集会所	集会所	2011	木造	158.99
	28	伝八集会所	集会所	2008	木造	147.70
	29	鷹巣集落センター	集会所	1982	木造	208.68
	30	大原集会所	集会所	2005	木造	158.58
	31	袋生活共同利用センター	集会所	1978	木造	177.21
	32	新田集落センター	集会所	1983	木造	199.98
	33	上黒沢集会所	集会所	2016	木造	159.82
			倉庫	1970	木造	9.90
	34	上高城集落センター	集会所	1981	木造	216.96
	35	上郷集会所	集会所	2008	木造	158.99
	36	小栗山集会所	集会所	2011	木造	147.40
	37	志津多目的研修集会施設	集会所	1981	木造	207.36
	38	高根農業担い手センター	集会所	1979	木造	196.02
			倉庫	1979	木造	9.90
	39	向町集会所	集会所	2016	木造	177.21
			倉庫	1993	鉄骨造	9.97
	40	吉田生活共同利用センター	集会所	1974	木造	133.65
	41	下高城多目的研修集会施設	集会所	1978	木造	213.23
			倉庫	1986	鉄骨造	9.90
	42	王城寺花川沢口集会所	集会所	2008	木造	205.36
	43	一の関集会所	集会所	2017	木造	160.25
			倉庫	1972	木造	9.90
	44	清水集会所	集会所	2014	木造	147.40
	45	コミュニティーセンター	集会施設	1981	鉄筋コンクリート	642.48
町民文化系施設	小計	24 施設	31 棟			4,619.54

＜対象施設一覧③＞

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m ²)
スポーツ・レクリエーション施設	46	平沢交流センター	浴場（新館）	1997	鉄筋コンクリート	2,146.29
			浴場（旧館）	1992	木造	563.76
			農産物直売施設	1997	木造	240.00
			渡廊下	1997	木造	122.00
			旧館倉庫	1992	鉄骨造	9.00
			新館倉庫	1997	鉄筋コンクリート	13.00
	47	大滝野営場	ログハウス1	1974	木造	16.00
			ログハウス2	1974	木造	16.00
			炊事場	1974	鉄骨造	36.00
			トイレ	1974	木造	8.00
	48	大原農村公園	公衆トイレ	1988	木造	7.00
	49	愛宕山公園	農業伝習館	1993	木造	1,466.00
			サッカー場クラブハウス	2014	木造	173.03
			資料展示室	2008	木造	126.56
			倉庫	1993	木造	96.00
			公衆トイレ（伝習館前）	1993	木造	12.00
			多目的トイレ	2012	木造	9.00
			水耕管理事務所	1988	木造	51.19
			倉庫（特定地区公園）	1990	木造	64.59
			公衆トイレ（合理化C前）	1990	木造	18.00
			水耕栽培施設	1990	鉄骨造	318.30
	50	町民体育館	体育館	1970	鉄筋コンクリート	1,432.60
	51	町民小体育館	体育館	1994	鉄筋コンクリート	1,338.42
	52	屋外運動場	管理棟	1980	鉄骨造	51.36
			倉庫	1980	鉄骨造	10.53
			トイレ	1979	コンクリートブロック	28.98
スポーツ・レクリエーション施設	小計	7 施設	26 棟			8,373.61
保健・福祉施設	53	保健福祉センター	保健福祉センター	2000	鉄筋コンクリート	3,843.04
			車庫	2000	鉄骨造	140.76
	54	地域活動支援センター	地域活動支援センター	2000	木造	274.92
保健・福祉施設	小計	2 施設	3 棟			4,258.72

第2章 計画対象施設

<対象施設一覧④>

令和2年度(2020年度)末時点

施設分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m ²)
子育て支援施設	55	清水保育所	保育施設	1990	木造	372.00
			倉庫	1990	木造	20.00
	56	色麻保育所	保育施設	1982	鉄筋コンクリート	494.03
			倉庫	1982	鉄骨造	9.72
	57	学童保育施設	学童保育施設	2015	鉄骨造	296.22
子育て支援施設	小計	3 施設	5 棟			1,191.97
産業系施設	58	林業機械保管庫	林業保管庫 1	1991	木造	72.00
			林業保管庫 2	1991	木造	25.00
	59	木工品加工場	木工品加工工場	1983	鉄骨造	68.00
			天日乾燥棟	1983	鉄骨造	2,985.66
			倉庫	1986	木造	233.28
			糞尿処理棟	1981	鉄骨造	790.95
			原料ホッパー棟	1981	鉄骨造	30.42
	61	地場産業振興施設	地場産業振興施設	2012	木造	255.00
	62	一ノ沢肉用牛育成センター	管理棟	1982	鉄骨造	109.00
			畜舎	1982	鉄骨造	165.00
産業系施設	小計	5 施設	10 棟			4,734.31
インフラ関連施設	63	保野川ダム管理施設	管理棟	1999	鉄筋コンクリート	97.20
			取水ゲート操作室	1999	鉄筋コンクリート	21.70
			放流ゲート操作室	1999	鉄筋コンクリート	33.60
			漏水管理室	1999	鉄筋コンクリート	20.00
			給水棟	1999	鉄筋コンクリート	9.00
	64	八原浄水場	浄水場	1991	鉄筋コンクリート	108.00
			発電機室(八原第2井戸)	1991	鉄筋コンクリート	10.00
			発電機室(八原第3井戸)	1991	鉄筋コンクリート	10.00
	65	日の出ポンプ場	ポンプ場	1987	木造	7.00
	66	大村浄化センター	下水浄化施設	1996	鉄筋コンクリート	193.81
	67	平沢浄水場	ポンプ場	2014	鉄筋コンクリート	41.00
	68	新山浄水場	浄水場	2001	鉄筋コンクリート	72.00
	69	色麻浄化センター	管理棟	1999	鉄筋コンクリート	549.67
			汚泥ポンプ棟	1999	鉄筋コンクリート	123.89
			井水ポンプ棟	1999	鉄筋コンクリート	31.11

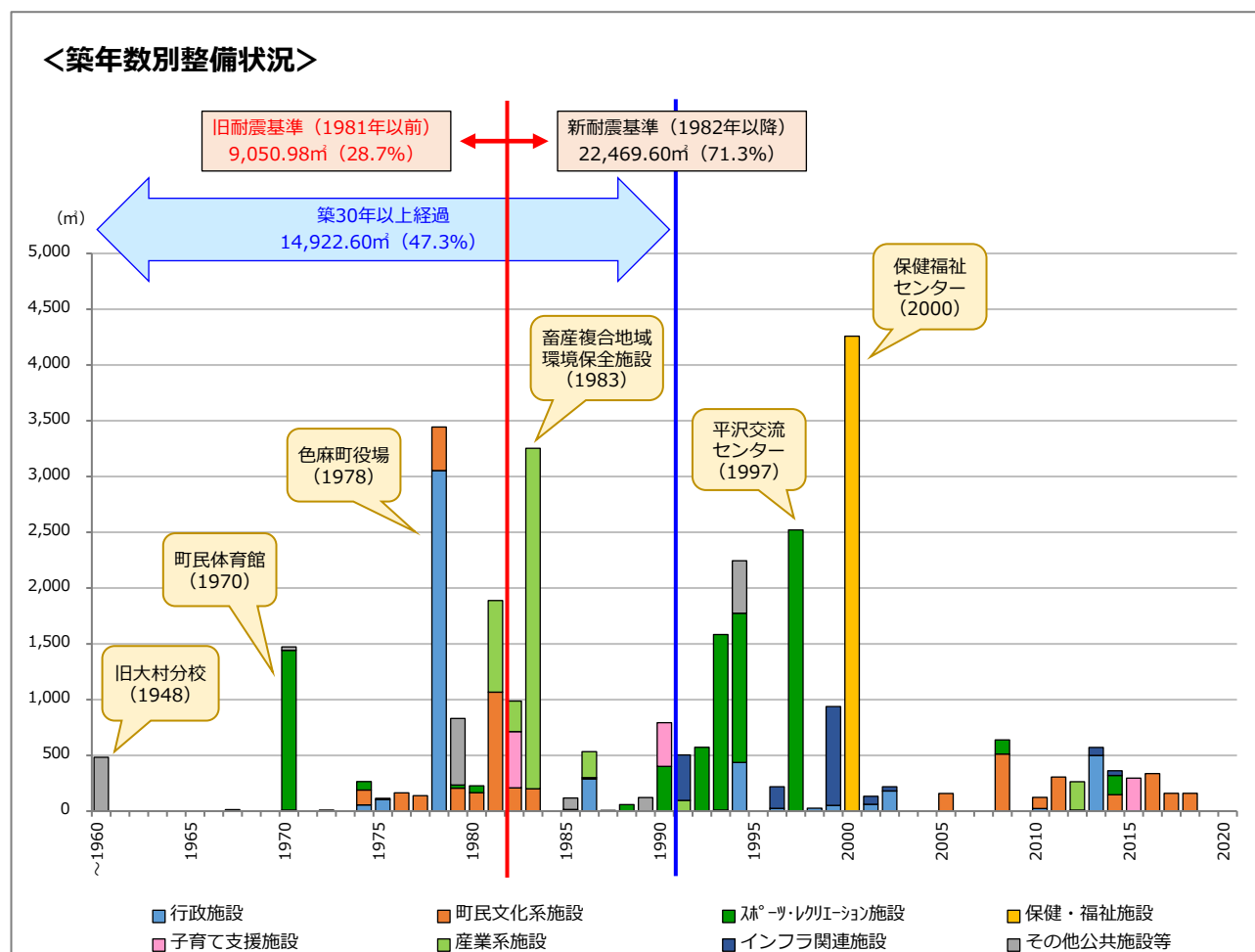
＜対象施設一覧⑤＞

令和2年度（2020年度）末時点

施設分類	施設番号	施設名称	建物名称	建築年度	構造	延床面積(m ²)
インフラ関連施設	70	小栗山浄水場	浄水場	2002	鉄筋コンクリート	38.00
	71	王城寺浄水場	浄水場	2013	鉄筋コンクリート	72.00
	72	一の沢配水池	配水池	1991	鉄筋コンクリート	279.00
	73	愛宕山送水ポンプ場	ポンプ場	1967	コンクリートブロック	14.00
インフラ関連施設	小計	11 施設	19 棟			1,730.98
その他公共施設等	74	産業会館	産業会館	1994	鉄骨造	469.32
	75	切付郵便局	簡易郵便局	1970	木造	29.75
	76	旧大村分校	校舎	1948	木造	478.00
			浴場	1948	木造	5.00
			倉庫	1985	鉄骨造	103.00
	77	旧六の国農業共済組合色麻事務所	事務所	1979	鉄筋コンクリート	362.35
			格納庫	1979	鉄骨造	198.74
	78	旧色麻機械化酪農農業協同組合倉庫	倉庫	1989	鉄骨造	122.39
	79	役場前旧店舗	事務所	1979	木造	34.71
その他公共施設等	小計	6 施設	9 棟			1,803.26
計画対象施設	合計	79 施設	130 棟			31,520.58

3 築年数別整備状況

本計画の対象施設の築年数別整備状況をみると、1970年代後半～1980年代前半、1990年代前半～2000年にかけて多くの公共建築物が整備されてきたことがわかります。また、昭和56年（1981年）の新耐震基準以前に建築された施設は延床面積ベースで全体の28.7%、大規模改修の目安とされる築30年以上の施設は全体の47.3%を占めています。



第3章 施設の状態等の調査

1 施設の状態等の調査（施設カルテの作成）

本計画では、以下のフローに基づき、個別施設ごとに利用・運営状況や修繕・工事履歴の調査、また簡易的な老朽化診断等を実施して、施設の現状と課題を整理した上で、今後の方向性等について検討し、個別施設ごとの「施設カルテ」を作成しました。

<施設の状態等の調査と方向性の検討フロー>



2 施設カルテの見方

施設カルテの見方は以下のとおりです。

〇〇系施設		施設分類・施設名称	
施設 No.〇 施設名		※施設分類は公共施設等総合管理計画と対応	
(1) 施設の概要			
①施設概要		施設概要	
施設名称		固定資産台帳を基に施設の基本的な情報を記載	
所在地		※施設内に複数の建物がある場合の記載内容	
代表建築年度		・代表建築年度 … 主要な建物の建築年度 (基本的には最も古い建築年度)	
建築費		・建築費 … 全ての建物の合計建築費	
延床面積		・延床面積 … 全ての建物の合計延床面積	
構造		・構造 … 主要な建物の構造	
耐用年数		・耐用年数 … 主要な建物の法定耐用年数	
耐震化		・経過年数 … 主要な建物の経過年数 (令和元年度末時点)	
付帯施設		・耐震基準 … 新耐震基準で建築した施設は「○」 旧耐震基準で建築した施設は「-」 ※耐震改修済みの場合は「○」	
②利用・運営状況		利用・運営状況	
	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)
利用者数 (件数)			
職員数			
運営方式			
運営時間			
稼働日数 (稼働率)			
運営経費			
職員数の記載		過去 5 年間の施設の利用状況・運営状況を記載	
正 … 正職員		※施設内に複数の建物がある場合の記載内容	
臨 … 臨時職員		建物ごとに利用・運営の状況が異なり、かつ建物ごとに個別に状況を把握可能な場合 ⇒ 建物ごとに分けて利用状況等を記載	
(2) 施設の状態 (施設・工事履歴)			
実施年度	運営経費の記載	修繕・工事費	
	施設内の全ての建物に係る支出の合計		
	・人件費、保険料、需用費、委託料、工事請負費、減価償却費、その他支出		
施設の状態 (修繕・工事履歴)			
原則としては過去 5 年間で金額 30 万円以上の修繕・工事を記載			
※5 件以上の修繕・工事を実施している場合の記載内容			
⇒ 金額が大きい順に 5 件を抽出して記載			
(3) 施設の現状と方向性			
利用目的	施設の現状と方向性 施設の利用目的・現在の状態・今後の方向性について 本計画策定時点での考え方を記載		
施設の現状			
今後の方向性			

第4章 施設カルテ（各施設の現状と方向性）

1 行政施設

<21 施設>

施設 No.1 色麻町役場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	色麻町役場	所 管 課	総務課
所 在 地	四電字北谷地 41	施設分類	行政施設
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度		
建 築 費	868,976,000 円		
延床面積	3,489.86 m ²		
構 造	鉄筋コンクリート ほか		
耐用年数	50 年	経過年数	41 年
耐 震 化	○	避 難 所	—
付帯施設	車庫（SYK）、車庫（役場）、倉庫、プロパン庫、ポンプ室、ボイラー室		

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	18,680 人	16,291 人	17,048 人	14,704 人	17,443 人
職 員 数	正 45 人 臨 8 人	正 44 人 臨 7 人	正 47 人 臨 7 人	正 47 人 臨 9 人	正 49 人 臨 12 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
稼働日数（稼働率）	252 日（69%）	250 日（68%）	245 日（67%）	252 日（69%）	250 日（68%）
運営経費	672,861,893 円	700,778,852 円	706,092,586 円	657,510,999 円	665,473,535 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	役場庁舎屋内消火管切回し工事	2,160,000 円
平成 28 年度	役場庁舎自動ドア改修工事	1,166,400 円
平成 29 年度	多目的トイレ設置工事	7,288,920 円
平成 30 年度	役場庁舎空調設備修繕	734,400 円
平成 30 年度	区画線設置工事	1,291,680 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	庁 舎	・ 町政の業務を行う施設であり、庁舎には総務課・企画情報課・町民生活課・税務課・総合徴収対策室・産業振興課・会計課・議会事務局・農業委員会・教育総務課・選挙管理委員会事務局等の執務室と町長室・副町長室・教育長室・正副議長室や各種機器室等を備え、町行政の中心として使用されている。 ・ 役場庁舎は、防災の本拠であり、その他窓口来庁者や各種会議、祭り、選挙、税の申告等幅広く使われている。
	車庫（SYK）	・ 有線放送設備の維持管理車の車庫及び資機材の保管庫として使用している。
	車庫（役場）	・ 公用車の車庫及び水道事業資機材の保管庫として使用している。
	倉 庫	・ 建設水道課の資機材収納庫、及び町民生活課、税務課等の書庫として使用している。
	プロパン庫	・ 役場庁舎にガスを供給するプロパンガスの格納庫として使用している。
	ポンプ室	・ 役場庁舎に水道水を供給するポンプ設備の格納庫として使用している。
	ボイラー室	・ 災害用資機材の格納庫として使用している。

第4章 施設カルテ

《1 行政施設》

施設の現状	庁 舎	・昭和 53 年に建設され、41 年が経過している。過去事業としては、令和元年度に屋根の防水シートの補修を行っており、平成 28 年度には漏水している消火管の切回し工事を行っている。 ・平成 29 年度に多目的トイレを設置した。
	車庫（SYK）	・ 建築後 25 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
	車庫（役場）	・ 建築後 25 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
	倉 庫	・ 建設後 41 年以上経過し、経年劣化により外壁等に一部亀裂がある。
	プロパン庫	・ 建設後 41 年以上経過し、経年劣化により外壁等に一部亀裂がある。
	ポンプ室	・ 建設後 41 年以上経過し、経年劣化により外壁等に一部亀裂がある。
	ボイラー室	・ 建設後 41 年以上経過し、経年劣化により外壁等に一部亀裂がある。
今後の方向性	庁 舎	・ 町行政の中核であり、重要な建物であるため、現在判明している破損箇所を修繕しながら長寿命化を図る。
	車庫（SYK）	・ 定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	車庫（役場）	・ 定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉 庫	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。
	プロパン庫	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。
	ポンプ室	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。
	ボイラー室	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.2 役場分庁舎（建設水道課）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	役場分庁舎（建設水道課）			所 管 課	建設水道課
所 在 地	四電字北谷地 41			施設分類	行政施設
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	43,195,000 円				
延床面積	264.99 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	24 年	経過年数	33 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	4,880 人	4,860 人	4,960 人	4,960 人	4,880 人
職 員 数	正 9 人 臨 1 人	正 9 人 臨 1 人	正 9 人 臨 1 人	正 9 人 臨 1 人	正 9 人 臨 1 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
稼働日数（稼働率）	244 日（67%）	243 日（67%）	248 日（68%）	248 日（68%）	244 日（67%）
運営経費	1,112,284 円	966,456 円	984,812 円	1,135,434 円	1,084,357 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	役場分庁舎トイレ改修工事	3,300,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・建設事業及び道路・橋梁・水路・住宅の管理、上下水道事業の事務を行っている。 ・また、住宅・上下水道使用料等の料金徴収を行っている。
施設の現状	・耐用年数を経過しており老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・施設の老朽化が進んでいるため、随時補修等、適切な管理を行う。

施設 No.3 除雪車車庫（建設水道課）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	除雪車車庫（建設水道課）			所 管 課	建設水道課
所 在 地	四電字北谷地 41			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 25 年（2013 年）度				
建 築 費	47,904,000 円				
延床面積	499.00 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	6 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	1,589,933 円	1,589,933 円	1,592,337 円	1,592,337 円	1,592,337 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 建設水道課所管の除雪機械・重機・資材の保管庫として使用している。
施設の現状	・ 目立った劣化もなく良好に管理し、使用している。
今後の方向性	・ 今後の修繕計画を立て、適切に維持管理を行っていく。

施設 No.4 倉庫（産業振興課）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	倉庫（産業振興課）			所 管 課	産業振興課
所 在 地	四竈字北谷地 41			施設分類	行政施設
代表建築年度	昭和 49 年（1974 年）度				
建 築 費	3,330,000 円				
延床面積	55.50 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	24 年	経過年数	45 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 林業用の倉庫として使用していたが、現在は書庫として使用している。
施設の現状	・ 耐用年数が経過し、建物全体がサビている。
今後の方向性	・ 耐用年数が経過しているので安全性を考慮して安価なプレハブ等への建て替えも検討する必要がある。

施設 No.5 消防ポンプ格納庫（北大村）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（北大村）			所 管 課	総務課
所 在 地	大字下新町 68-8			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	17 人	15 人	14 人	12 人	10 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	951,226 円	940,380 円	882,501 円	823,732 円	709,133 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 1 分団第 2 班北大村班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.6 消防ポンプ格納庫（平沢）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（平沢）			所 管 課	総務課
所 在 地	平沢字新谷地田 124			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	2,100,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	20 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	12 人	12 人	12 人	12 人	11 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	806,216 円	827,310 円	803,910 円	826,232 円	794,242 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 4 分団第 4 班平沢班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 20 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.7 消防ポンプ格納庫（南大村）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（南大村）			所 管 課	総務課
所 在 地	大字下本町南 17-20			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	2,100,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	20 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	11 人	11 人	12 人	11 人	10 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	702,891 円	782,927 円	785,910 円	738,332 円	694,342 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 1 分団第 1 班南大村班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 20 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.8 消防ポンプ格納庫（道命）

（1）施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（道命）			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字道命南 64-1			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	18 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
団 員 数	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	595,926 円	611,495 円	625,850 円	617,932 円	601,842 円

（2）施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

（3）施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 1 分団第 4 班道命班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 18 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.9 消防ポンプ格納庫（袋）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（袋）			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新袋 111			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建 築 費	3,840,000 円				
延床面積	24.75 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	23 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	8 人	9 人	9 人	9 人	9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	704,465 円	719,255 円	715,613 円	707,935 円	689,845 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 2 分団第 1 班袋班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 23 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.10 消防ポンプ格納庫（上黒沢）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（上黒沢）			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字土利壇 19-23			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 10 年（1998 年）度				
建 築 費	1,890,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	25 年	経過年数	21 年		
耐 震 化	○	避 難 所	—		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
団 員 数	9 人	10 人	9 人	11 人	10 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	689,846 円	703,850 円	638,510 円	752,632 円	690,642 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第3分団第3班上黒沢班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 21 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.11 消防ポンプ格納庫（上郷）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（上郷）			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新宿二番 1-32			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	9.90 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	25 年	経過年数	18 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	8 人	8 人	8 人	8 人	8 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	611,326 円	813,530 円	653,250 円	656,932 円	607,242 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 2 分団第 4 班上郷班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 18 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.12 消防ポンプ格納庫（小栗山）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（小栗山）			所 管 課	総務課
所 在 地	小栗山字新下原 106-2			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 22 年（2010 年）度				
建 築 費	3,517,000 円				
延床面積	24.12 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	9 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	10 人	12 人	12 人	12 人	12 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	697,412 円	876,266 円	852,638 円	819,060 円	822,970 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第4分団第3班小栗山班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後9年で比較的新しいため、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.13 消防ポンプ格納庫（志津）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（志津）			所 管 課	総務課
所 在 地	志津字前原 41-3			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	25 年	経過年数	18 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	733,326 円	748,760 円	720,810 円	1,032,332 円	819,392 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 3 分団第 4 班志津班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 18 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.14 消防ポンプ格納庫（高根）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（高根）			所 管 課	総務課
所 在 地	高根字新馬場 60			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
団 員 数	10 人	8 人	8 人	7 人	7 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	703,726 円	623,080 円	607,101 円	566,032 円	571,942 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 4 分団第 2 班高根班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.15 消防ポンプ格納庫（向町）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（向町）			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新向町 39			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	9 人	9 人	10 人	10 人	9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	647,826 円	676,980 円	703,410 円	736,044 円	661,742 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 2 分団第 2 班向町班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.16 消防ポンプ格納庫（清水）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（清水）			所 管 課	総務課
所 在 地	清水字川端南 25-1			施設分類	行政施設
代表建築年度	昭和 61 年（1986 年）度				
建 築 費	3,840,000 円				
延床面積	24.75 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	33 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
団 員 数	10 人	10 人	10 人	10 人	10 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	762,001 円	775,187 円	685,192 円	666,129 円	663,025 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第4分団第1班清水班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 33 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.17 消防ポンプ格納庫（宿）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（宿）			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字北谷地 34			施設分類	行政施設
代表建築年度	昭和 50 年（1975 年）度				
建 築 費	10,000,000 円				
延床面積	104.40 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	44 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	30 人	32 人	30 人	31 人	32 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	862,430 円	1,085,146 円	848,326 円	865,075 円	806,661 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団本部役場班、及び第 2 分団第 5 班宿班の消防ポンプ格納庫として使用している。 ・建設水道課所管の給水車も格納している。
施設の現状	・昭和 51 年 2 月から中新田消防署色麻派出所として使用されてきたが、平成 23 年に中新田消防署と統合し、新たに加美消防署が開設した。この統合により大崎地域広域行政事務組合から平成 23 年に譲渡された。 ・建設から 44 年以上経過し、老朽化により外壁や雨樋等の破損が著しい状況である。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.18 消防ポンプ格納庫（下高城）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（下高城）			所 管 課	総務課
所 在 地	高城字宮 14-1			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所			
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
団 員 数	10 人	11 人	11 人	10 人	11 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	686,708 円	815,340 円	751,310 円	709,732 円	761,542 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第3分団第1班下高城班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.19 消防ポンプ格納庫（王城寺）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（王城寺）			所 管 課	総務課
所 在 地	王城寺字渡戸南 60			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	25 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	8 人	9 人	9 人	10 人	9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	683,226 円	797,200 円	668,910 円	726,364 円	689,142 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 2 分団第 3 班王城寺班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.20 消防ポンプ格納庫（下黒沢）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（下黒沢）			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字新神明 80			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	7 人	7 人	7 人	7 人	8 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	548,026 円	562,580 円	553,535 円	591,497 円	594,242 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第3分団第2班下黒沢班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

施設 No.21 消防ポンプ格納庫（一の関）

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	消防ポンプ格納庫（一の関）			所 管 課	総務課
所 在 地	一の関字新西原前 10			施設分類	行政施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	2,200,000 円				
延床面積	25.91 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
団 員 数	10 人	9 人	9 人	9 人	9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	724,826 円	692,080 円	666,610 円	684,932 円	660,842 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・色麻町消防団第 1 分団第 3 班一の関班の消防ポンプ格納庫として使用している。
施設の現状	・建築後 17 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
今後の方向性	・防災活動拠点として重要な役割を担っている。 ・消防団関連施設の突発的な使用障害や事故は、防災活動の停止に直結するため、耐用年数による劣化状況を予測し予防的な修繕を行う。

2 町民文化系施設

<24 施設>

施設 No.22 下黒沢生活共同利用センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	下黒沢生活共同利用センター			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字新神明 80			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 52 年（1977 年）度				
建 築 費	22,240,000 円				
延床面積	138.24 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	42 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	460 人	504 人	474 人	422 人	443 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	109 日（30%）	111 日（30%）	98 日（27%）	121 日（33%）	95 日（26%）
運営経費	14,789	109,829	31,958	15,434	24,614

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・老朽化による影響で、外壁等に亀裂がある。 ・平成 28 年度に床板修繕を行った。
今後の方向性	・地区住民の集会や各種イベント、防災活動のために必要な施設である。 ・老朽化が著しいため、今後建て替えの予定である。

施設 No.23 北大集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	北大集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	大字下新町 68-8、大字上新町 170-2(倉庫)			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 30 年（2018 年）度				
建 築 費	40,707,600 円				
延床面積	175.41 ㎡				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	22 年	経過年数	1 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	—	—	—	—	946 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	集会所	—	—	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	—	—	—	—	不定期
稼働日数 (稼働率)	—	—	—	—	125 日 (34%)
運営経費	228 円	97,428 円	245 円	24,962 円	1,820,646 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・平成 30 年度に新築した。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.24 平沢農業担い手センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	平沢農業担い手センター			所 管 課	総務課
所 在 地	平沢字新谷地田 124			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度				
建 築 費	26,400,000 円				
延床面積	165.36 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	39 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	538 人	396 人	368 人	502 人	281 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	102 日（28%）	98 日（27%）	112 日（31%）	93 日（25%）	95 日（26%）
運営経費	17,556 円	17,556 円	18,453 円	87,573 円	18,453 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・選挙時は第 8 投票区の投票所として使用している。
施設の現状	・経年により、一部外壁等に亀裂がある。
今後の方向性	・当該施設は、県が指定した土砂災害警戒区域等の区域内にあり、老朽化も著しいため、今後移転も含めた建て替え等を検討する。

施設 No.25 二反田集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	二反田集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字二反田 46-2			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 22 年（2010 年）度				
建 築 費	20,485,000 円				
延床面積	99.37 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	9 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	786 人	762 人	755 人	727 人	681 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数 (稼働率)	114 日 (31%)	102 日 (28%)	95 日 (26%)	120 日 (33%)	115 日 (32%)
運営経費	1,050,798 円	997,365 円	973,873 円	973,873 円	975,003 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
施設の現状	・平成 22 年度に新築した。 ・目立った破損等は見られない。 ・平成 27 年度に、足洗い場を設置した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.26 南大村生活共同利用センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	南大村生活共同利用センター			所 管 課	総務課
所 在 地	大字下本町南 17-20			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 51 年（1976 年）度				
建 築 費	27,929,000 円				
延床面積	174.32 ㎡				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	22 年	経過年数	43 年		
耐 震 化	－	避 難 所	○		
付帯施設	倉庫				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	681 人	656 人	640 人	635 人	617 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	集会所	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	127 日（35%）	102 日（28%）	99 日（27%）	160 日（44%）	123 日（34%）
運営経費	22,021 円	22,021 円	122,170 円	22,810 円	64,440 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・昭和 51 年に建設された建物で 43 年以上経過している。このため、老朽化により外壁や屋根等が破損している。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.27 道命集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	道命集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字道命南 64-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 23 年 (2011 年) 度				
建 築 費	31,702,000 円				
延床面積	158.99 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	8 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設					


--

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	872 人	823 人	794 人	777 人	722 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数 (稼働率)	105 日 (29%)	114 日 (31%)	98 日 (27%)	126 日 (35%)	109 日 (30%)
運営経費	1,650,575 円	1,504,775 円	1,593,592 円	1,494,232 円	1,498,632 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 23 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.28 伝八集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	伝八集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字伝八 56-2			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建 築 費	29,311,000 円				
延床面積	147.70 m ²				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	11 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	367 人	328 人	317 人	312 人	307 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	120 日（33%）	105 日（29%）	117 日（32%）	124 日（34%）	109 日（30%）
運営経費	1,391,609 円	1,391,609 円	1,391,607 円	1,490,967 円	1,426,752 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 20 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.29 鷹巣集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	鷹巣集落センター			所 管 課	総務課
所 在 地	志津字鷹巣屋敷岸 117-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	33,440,000 円				
延床面積	208.68 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	37 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	492 人	455 人	441 人	428 人	434 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	122 日（33%）	115 日（32%）	103 日（28%）	124 日（34%）	98 日（27%）
運営経費	136,717 円	1,596,877 円	32,014 円	32,014 円	32,094 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	鷹巣集落センター雨樋等修繕	993,600 円
平成 28 年度	鷹巣集落センターネットフェンス張替工事	572,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・建設から 37 年以上経過し、経年劣化により支障が生じた箇所は随時、修繕等を行っている。 ・平成 28 年に雨樋とネットフェンスの修繕を実施している。
今後の方向性	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。

施設 No.30 大原集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大原集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	大字上新町 147			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 17 年（2005 年）度				
建 築 費	19,320,000 円				
延床面積	158.58 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	14 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,585 人	1,321 人	1,262 人	904 人	2,267 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	114 日（31%）	109 日（30%）	103 日（28%）	196 日（54%）	112 日（31%）
運営経費	920,895 円	920,895 円	933,577 円	922,209 円	965,399 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。 ・選挙時は第 3 投票区の投票所として使用している。
施設の現状	・当該施設は、平成 17 年度に（株）ローソンから寄贈された。 ・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.31 袋生活共同利用センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	袋生活共同利用センター			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新袋 111			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度				
建 築 費	28,320,000 円				
延床面積	177.21 m ²				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	41 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	487 人	462 人	439 人	430 人	418 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	124 日（34%）	135 日（37%）	114 日（31%）	120 日（33%）	112 日（31%）
運営経費	18,832 円	18,832 円	19,795 円	19,795 円	19,795 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。
施設の現状	・建設から 41 年以上経過し、老朽化により外壁や雨樋等の破損が著しい状況である。
今後の方向性	・当該施設は、県が公表した浸水想定区域内にあり、老朽化も著しいため、今後移転も含めた建て替え等を検討する。

施設 No.32 新田集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	新田集落センター			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字土利壇 52-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度				
建 築 費	32,000,000 円				
延床面積	199.98 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	36 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	448 人	423 人	395 人	390 人	375 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	119 日（33%）	125 日（34%）	114 日（31%）	102 日（28%）	135 日（37%）
運営経費	29,848 円	29,920 円	31,008 円	463,008 円	31,088 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 30 年度	新田集落センターネットフェンス更新工事	432,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・建設から 36 年以上経過し、経年劣化により外壁等に亀裂が入っている。 ・平成 30 年にネットフェンスの修繕を実施している。
今後の方向性	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。

施設 No.33 上黒沢集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	上黒沢集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字新土利壇 30-2			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 28 年（2016 年）度				
建 築 費	39,005,000 円				
延床面積	169.72 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	3 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	倉庫				


--

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	950 人	871 人	694 人	1,280 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	集会所	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	－	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	－	95 日（26%）	114 日（31%）	102 日（28%）	135 日（37%）
運営経費	14,402 円	2,812,470 円	1,787,383 円	1,810,603 円	1,822,347 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	上黒沢集会所排水路設置工事	993,600 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。 ・選挙時は第 5 投票区の投票所として使用している。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・目立った破損等は見られない。 ・平成 28 年度に新築した。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.34 上高城集落センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	上高城集落センター			所 管 課	総務課
所 在 地	高城字上ノ原 34-6			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建 築 費	34,720,000 円				
延床面積	216.96 m ²				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	38 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	594 人	558 人	564 人	542 人	530 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	98 日（27%）	117 日（32%）	96 日（26%）	102 日（28%）	96 日（26%）
運営経費	31,548 円	152,108 円	32,729 円	69,989 円	32,989 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・建設から 38 年以上経過し、経年劣化により外壁等に亀裂が入っている。 ・平成 28 年に屋根の塗装塗り替えを実施している。
今後の方向性	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。

施設 No.35 上郷集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	上郷集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新宿二番 1-32			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建 築 費	24,818,000 円				
延床面積	158.99 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	11 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	785 人	727 人	662 人	685 人	666 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数 (稼働率)	132 日 (36%)	117 日 (32%)	125 日 (34%)	102 日 (28%)	133 日 (36%)
運営経費	1,190,403 円	1,178,955 円	1,476,778 円	1,181,290 円	1,181,875 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	上郷集会所法面崩壊復旧作業	295,488 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 20 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.36 小栗山集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	小栗山集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	小栗山字新下原 106-2			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 23 年（2011 年）度				
建 築 費	29,674,000 円				
延床面積	147.40 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	8 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	635 人	402 人	383 人	280 人	522 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	134 日（37%）	129 日（35%）	113 日（31%）	130 日（36%）	127 日（35%）
運営経費	1,413,090 円	1,413,090 円	1,403,240 円	1,403,240 円	1,403,320 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。 ・選挙時は第 9 投票区の投票所として使用している。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 23 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.37 志津多目的研修集会施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	志津多目的研修集会施設			所 管 課	総務課
所 在 地	志津字前原 41-3			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建 築 費	33,280,000 円				
延床面積	207.36 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	38 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	396 人	362 人	348 人	367 人	352 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	132 日（36%）	119 日（33%）	136 日（37%）	120 日（33%）	126 日（35%）
運営経費	104,931 円	32,931 円	133,311 円	52,311 円	390,996 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和元年度	志津地区多目的研修集会施設床修繕	356,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・建設から 38 年以上経過し、経年劣化により外壁等に亀裂が入っている。 ・令和元年度に料理室の床修繕を実施している。
今後の方向性	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。

施設 No.38 高根農業担い手センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	高根農業担い手センター			所 管 課	総務課
所 在 地	高根字新馬場 60			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建 築 費	31,954,000 円				
延床面積	205.92 m ²				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	40 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	554 人	533 人	528 人	499 人	502 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	集会所	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	125 日（34%）	138 日（38%）	113 日（31%）	132 日（36%）	125 日（34%）
運営経費	28,350 円	697,950 円	47,777 円	29,417 円	31,657 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	高根農業担い手センター雨樋修繕工事	669,600 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・建設から 40 年以上経過し、経年劣化により外壁等に亀裂が入っている。 ・平成 28 年度に雨樋の修繕を実施している。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.39 向町集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	向町集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字新向町 39			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 28 年（2016 年）度				
建 築 費	43,879,680 円				
延床面積	187.18 ㎡				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	22 年	経過年数	3 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	倉庫				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	1,213 人	763 人	2,141 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	集会所	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	－	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	－	138 日（38%）	143 日（39%）	157 日（43%）	132 日（36%）
運営経費	60,616 円	82,528 円	3,816,593 円	2,007,261 円	2,015,981 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。 ・選挙時は第 2 投票区の投票所として使用している。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・目立った破損等は見られない。 ・平成 28 年度に新築した。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.40 吉田生活共同利用センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	吉田生活共同利用センター			所 管 課	総務課
所 在 地	吉田字内屋敷 33-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 49 年（1974 年）度				
建 築 費	21,440,000 円				
延床面積	133.65 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	45 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	260 人	255 人	249 人	244 人	251 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	115 日（32%）	129 日（35%）	130 日（36%）	122 日（33%）	125 日（34%）
運営経費	14,257 円	14,257 円	40,907 円	14,987 円	23,357 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
施設の現状	・建設から 45 年以上経過し、老朽化により外壁や雨樋等の破損が著しい状況である。
今後の方向性	・今後も地区のコミュニティーの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。

施設 No.41 下高城多目的研修集会施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	下高城多目的研修集会施設			所 管 課	総務課
所 在 地	高城字宮 14-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 53 年（1978 年）度				
建 築 費	36,160,000 円				
延床面積	223.13 ㎡				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	22 年	経過年数	41 年		
耐 震 化	－	避 難 所	○		
付帯施設	倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,257 人	906 人	847 人	731 人	1,136 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	集会所	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	115 日（32%）	103 日（28%）	98 日（27%）	122 日（33%）	135 日（37%）
運営経費	33,660 円	131,940 円	210,605 円	44,004 円	35,469 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。 ・選挙時は第 6 投票区の投票所として使用している。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・建設から 41 年以上経過し、経年劣化により外壁等に亀裂が入っている。 ・平成 28 年度に雨樋の修繕、平成 29 年度に玄関へ手すりを設置している。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・今後も地区のコミュニティの施設として存続が必要となるため、建て替えを検討する。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.42 王城寺花川沢口集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	王城寺花川沢口集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	王城寺字八原 7			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 20 年（2008 年）度				
建 築 費	30,143,000 円				
延床面積	205.36 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	11 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,524 人	1,598 人	1,556 人	1,203 人	2,216 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	286 日（78%）	265 日（73%）	271 日（74%）	290 日（79%）	278 日（76%）
運営経費	1,430,988 円	1,510,804 円	1,436,754 円	1,436,754 円	1,437,339 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。王城寺地区と花川沢口地区住民が共同で利用する。 ・選挙時は第 4 投票区の投票所として使用している。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 20 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.43 一の関集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	一の関集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	一の関字新西原前 10			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 29 年（2017 年）度				
建 築 費	39,442,400 円				
延床面積	170.15 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	2 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	720 人	706 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	集会所	－	－	指定管理	指定管理
	倉 庫	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	－	－	－	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	－	－	－	167 日（46%）	153 日（42%）
運営経費	1,016 円	1,016 円	22,808 円	1,794,053 円	1,802,773 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	集会所	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される場合がある。
	倉 庫	・地区所有の資機材を収納している。 ・消防ポンプ格納庫を新築した際、従前の格納庫を地区の倉庫として使用している。
施設の現状	集会所	・目立った破損等は見られない。 ・平成 29 年度に新築した。
	倉 庫	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	集会所	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉 庫	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.44 清水集会所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	清水集会所			所 管 課	総務課
所 在 地	清水字屋敷 55-3			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	平成 26 年（2014 年）度				
建 築 費	33,376,000 円				
延床面積	147.40 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	5 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	518 人	502 人	485 人	491 人	459 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	不定期	不定期	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	145 日（40%）	130 日（36%）	152 日（42%）	129 日（35%）	146 日（40%）
運営経費	2,263,326 円	1,584,006 円	1,583,913 円	1,584,003 円	1,588,403 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	清水集会所フェンス設置工事	567,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・行政区長の管理下のもと、地区単位での集会・各種教室の際に地区住民が多く利用する。 ・災害発生時に自主防災組織による地区住民の避難所として開設される。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。 ・平成 26 年度に新築した。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.45 コミュニティーセンター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	コミュニティセンター			所 管 課	社会教育課
所 在 地	清水字川端南 25-1			施設分類	町民文化系施設
代表建築年度	昭和 56 年（1981 年）度				
建 築 費	173,610,000 円				
延床面積	642.48 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	47 年	経過年数	38 年		
耐 震 化	－	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	8,200 人	7,505 人	6,524 人	7,877 人	6,054 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00
稼働日数（稼働率）	238 日（65%）	243 日（67%）	244 日（67%）	244 日（67%）	240 日（66%）
運営経費	8,252,812 円	8,484,510 円	9,052,515 円	9,544,129 円	8,793,260 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	コミュニティセンター玄関ドア改修	885,600 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・サークル活動、会議などで多くの住民が利用している。 ・選挙時は第 7 投票区の投票所として使用している。
施設の現状	・供用開始から 38 年が経過しており、老朽化が進んでいる。
今後の方向性	・屋根の色あせやサビが目立つようになっているため、早急に塗装修繕を実施し、長寿命化を図る。

3 スポーツ・レクリエーション施設

< 7 施設 >

施設 No.46 平沢交流センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	平沢交流センター			所 管 課	産業振興課
所 在 地	平沢字新早坂 21			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	平成 9 年（1997 年）度				
建 築 費	1,263,437,000 円				
延床面積	3,094.05 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
耐用年数	47 年	経過年数	22 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	浴場（新館）、浴場（旧館）、農産物直売施設、渡廊下、新館倉庫、旧館倉庫				



②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	浴 場	135,333 人	131,055 人	124,790 人	129,377 人	131,335 人
	直売施設	37,457 人	35,171 人	31,750 人	31,877 人	30,908 人
職 員 数		-	-	-	-	-
運営方式		指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	浴 場	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00	9:00~21:00
	直売施設	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00
稼働日数 (稼働率)	浴 場	343 日 (94%)	341 日 (93%)	338 日 (93%)	342 日 (94%)	344 日 (94%)
	直売施設	344 日 (94%)	341 日 (93%)	335 日 (92%)	339 日 (93%)	340 日 (93%)
運営経費		86,972,237 円	81,760,144 円	89,665,479 円	87,511,757 円	96,731,212 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	電力基盤更新工事	8,629,200 円
平成 28 年度	床等改修工事	5,832,000 円
平成 28 年度	給湯・給水設備交換工事	5,994,000 円
令和元年度	アトラクションポンプ交換工事	5,698,000 円
令和元年度	源泉ポンプ交換工事	4,455,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	浴場（新館）	・指定管理制度を導入した温泉施設を活用し、町民の健康増進、都市住民との交流、地域の産業・経済の活性化を目的としている。
	浴場（旧館）	
	渡 廊 下	・浴場新館、旧館の往来で利用している。
	新館倉庫	・浴場に関する備品等を収納している。
	旧館倉庫	
	農産物直売施設	・指定管理制度を導入した農産物直売施設を活用し、都市住民との交流、地域の産業・経済の活性化を目的としている。

第4章 施設カルテ

《3 スポーツ・レクリエーション施設》

施設の現状	浴場（新館）	・内外壁のクラック、防水シートのはがれ、サビ等が見られる。
	浴場（旧館）	・外壁のクラック、床等の腐食が見られる。
	渡 廊 下	・内外壁のクラックが見られる。
	新館倉庫	・鉄扉のサビが見られる。
	旧館倉庫	・目立った破損等は見られない。
	農産物直売施設	・床面のクラック、軒天のサビ等が見られる。
今後の方向性	浴場（新館）	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	浴場（旧館）	
	渡 廊 下	
	新館倉庫	
	旧館倉庫	
	農産物直売施設	

施設 No.47 大滝野営場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大滝野営場	所 管 課	産業振興課
所 在 地	小栗山字大船形山 1	施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	昭和 49 年（1974 年）度		
建 築 費	6,440,000 円		
延床面積	76.00 m ²		
構 造	木造 ほか		
耐用年数	22 年	経過年数	45 年
耐 震 化	－	避 難 所	
付帯施設	ログハウス（2 棟）、炊事場、トイレ		

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	ログハウス	10 件	10 件	10 件	10 件	10 件
	炊事場					
	トイレ	2,000 人	2,000 人	2,000 人	－	－
職 員 数		－	－	－	－	－
運営方式		直営	直営	直営	直営	直営
運営時間		24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	ログハウス	150 日 (41%)	150 日 (41%)	150 日 (41%)	150 日 (41%)	150 日 (41%)
	炊事場					
	トイレ	180 日 (49%)	180 日 (49%)	180 日 (49%)	－	－
運営経費		31,514 円	30,348 円	4,860 円	0 円	0 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	ログハウス 1	・登山時やキャンプ時に休憩使用したりする施設として使用している。
	ログハウス 2	
	炊 事 場	・登山時やキャンプ時に炊事場として利用する施設として使用している。
	ト イ レ	・登山等で来た方のトイレである。
施設の現状	ログハウス 1	・現在は、登山客やキャンプで使用しているいが、一部屋根など破損している。
	ログハウス 2	
	炊 事 場	・現在は、屋根がサびている状態である。
	ト イ レ	・現在は、積雪などで建物が傾いている状態で非常に危険な為、使用禁止にしている。
今後の方向性	ログハウス 1	・今後は、木材の塗装、屋根、窓の補修をしていく。
	ログハウス 2	
	炊 事 場	・今後、屋根の補修、炊事場のコンクリート補修をしていく。
	ト イ レ	・今後、トイレがないと不便なところもあるが、積雪が多い場所なので簡易トイレを設置する。

第4章 施設カルテ
《3 スポーツ・レクリエーション施設》

施設 No.48 大原農村公園

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大原農村公園			所 管 課	産業振興課
所 在 地	大字下新町北 143-1			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	昭和 63 年（1988 年）度				
建 築 費	1,029,000 円				
延床面積	7.00 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	15 年	経過年数	31 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	トイレ				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	730 人	730 人	730 人	730 人	730 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
運営経費	95,621 円	55,160 円	56,853 円	59,113 円	59,942 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 大原農村公園に来た方のトイレとして使用している。
施設の現状	・ 耐用年数も過ぎ経年劣化も見られるが、適時自前 (原材料等を購入して) で補修等を実施している。
今後の方向性	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.49 愛宕山公園

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	愛宕山公園			所 管 課	産業振興課
所 在 地	四電字東原 1-40、1-12			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	平成 5 年（1993 年）度				
建 築 費	584,411,000 円				
延床面積	2,334.67 m				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	24 年	経過年数	26 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	農業伝習館、資料展示室、水耕管理事務所、水耕栽培施設、サッカー場クラブハウス、倉庫（2 棟）、公衆トイレ（2 棟）、多目的トイレ				



②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	農業伝習館	【施】 2,285 人 【宿】 809 人	【施】 2,306 人 【宿】 602 人	【施】 2,464 人 【宿】 596 人	【施】 3,377 人 【宿】 562 人	【施】 2,226 人 【宿】 532 人
	資料展示室	349 人	318 人	506 人	381 人	381 人
	水耕管理事務所	632 人	632 人	630 人	628 人	612 人
	サッカー場クラブハウス	15,730 人 (223 件)	16,953 人 (220 件)	20,571 人 (294 件)	21,320 人 (334 件)	21,806 人 (323 件)
	トイレ(伝習館前)	2,440 人	2,440 人	2,440 人	2,440 人	2,440 人
	トイレ(合理化C前)	8,000 人	8,000 人	8,000 人	8,000 人	8,000 人
	多目的トイレ	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人
職員数	農業伝習館	正 2 人 臨 6 人	正 1 人 臨 1 人	正 1 人 臨 1 人	正 1 人 臨 1 人	正 1 人 臨 1 人
	水耕管理事務所	正 2 人	正 2 人	正 2 人	正 2 人	正 2 人
運営方式	水耕管理事務所 水耕栽培施設 倉庫(特定地区公園)	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
	上記以外	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	農業伝習館 資料展示室	8:30～17:30	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
	水耕管理事務所	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30
	サッカー場クラブハウス	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
	トイレ(伝習館前) トイレ(合理化C前) 多目的トイレ	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	農業伝習館	308 日 (84%)	309 日 (85%)	308 日 (84%)	307 日 (84%)	307 日 (84%)
	資料展示室	37 日 (10%)	34 日 (9%)	33 日 (9%)	37 日 (10%)	41 日 (11%)
	水耕管理事務所	316 日 (87%)	316 日 (87%)	315 日 (86%)	314 日 (86%)	306 日 (84%)
	サッカー場クラブハウス	156 日 (43%)	165 日 (45%)	201 日 (55%)	212 日 (58%)	198 日 (54%)
	トイレ(伝習館前)	244 日 (67%)	244 日 (67%)	244 日 (67%)	244 日 (67%)	244 日 (67%)
	トイレ(合理化C前) 多目的トイレ	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
	運営経費	43,483,555 円	46,206,448 円	48,545,173 円	28,266,358 円	28,493,184 円

※サッカー場クラブハウス：1 月～3 月までの冬期間休業

第4章 施設カルテ

《3 スポーツ・レクリエーション施設》

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	愛宕山公園公衆トイレ改修工事	926,640 円
平成 29 年度	農業伝習館浴場排水設備改修工事	2,725,200 円
平成 29 年度	農業伝習館上水道圧送ポンプ交換工事	4,525,200 円
平成 29 年度	農業伝習館液面制御装置修繕工事	1,225,800 円
平成 30 年度	農業伝習館エアコン修繕工事	1,242,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	農業伝習館	・愛宕山公園全体の管理機能を持つとともに、研修施設と宿泊機能を備え、各種研修や学生等の合宿などに対応し、町内外の方々に利用されている。
	資料展示室	・町に縁のある方の作製の能面や陶磁器、刀剣などの美術品及び寄贈された日本切手、並びに町内の文化財（遺跡出土品等）を展示し、町内外の方々に公開している。
	水耕管理事務所	・地場産業施設（味彩館ふるさと）の事務所として利用している。
	水耕栽培施設	・えごまの洗浄・乾燥・選別・保管の一連の作業施設として利用している。
	サッカー場クラブハウス	・サッカー利用者の施設として使用している。
	倉庫	・愛宕山公園管理に使う資材等を保管している。
	倉庫(特定地区公園)	・水耕栽培施設の材料、肥料、消毒剤など保管していたが、現在はえごま製品などの袋詰めや、加工したものの保管庫として利用している。
	公衆トイレ(伝習館前)	・愛宕山公園にきた方のトイレとして使用している。
	公衆トイレ(合理化C前)	・愛宕山公園にきた方のトイレとして使用している。
	多目的トイレ	・愛宕山公園にきた方のトイレとして使用している。
施設の現状	農業伝習館	・耐用年数が過ぎ、経年劣化が見られる。木造造りのため、特に窓枠が木のため開閉が容易でない箇所ある。また、土台が低いのと公園内の一番低い所にあることにより湿害を受け易い。
	資料展示室	・内壁・床・天井等の劣化は見られないが、外壁は雨・風・雪・紫外線等によりトタン張りに変色が見られる。
	水耕管理事務所	・目立った破損等は見られない。
	水耕栽培施設	・元々は、水耕栽培施設として利用した施設をえごま関連の作業施設として利用しているが、ガラス張りのため、夏は暑く、冬は寒い事もある。また、台風などでガラスの破損などが多くなってきている。
	サッカー場クラブハウス	・クラブハウスは、人工芝サッカー場と一体的に利用され、所期の目的を達成しているが小規模な修繕が発生している。
	倉庫	・内外の壁等は随時補修等を実施している。ただし、屋根は今まで一度も塗装を行っていないため、屋根材のスレートが変色（カビ等が繁殖）している。
	倉庫(特定地区公園)	・目立った破損等は見られない。
	公衆トイレ(伝習館前)	・耐用年数も過ぎ経年劣化も見られるが、適時自前（原材料等を購入して）で補修等を実施している。
	公衆トイレ(合理化C前)	・施設については、パネルヒーターがサビている。
	多目的トイレ	・劣化・破損は見られない。
今後の方向性	農業伝習館	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	資料展示室	
	水耕管理事務所	
	水耕栽培施設	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。また、えごま加工関連の施設として現在利用していることから、建て替えも検討する必要がある。
	サッカー場クラブハウス	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。
	倉庫	
	倉庫(特定地区公園)	
	公衆トイレ(伝習館前)	
	公衆トイレ(合理化C前)	
	多目的トイレ	

施設 No.50 町民体育館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	町民体育館			所 管 課	社会教育課
所 在 地	四竜字杵木町 154-3			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	昭和 45 年（1970 年）度				
建 築 費	356,160,000 円				
延床面積	1,432.60 m ²				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	47 年	経過年数	49 年		
耐 震 化	－	避 難 所	○		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	16,997 人	17,080 人	14,137 人	14,943 人	12,759 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	10,782,111 円	7,958,171 円	4,116,872 円	2,685,148 円	2,798,018 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	町民体育館外壁雨漏り補修工事	1,498,932 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 中学校体育授業・部活、スポーツ少年団活動、社会人クラブ活動などで多くの方が利用している。
施設の現状	・ 平成 17 年度に改修工事を実施。平成 29 年度に外壁雨漏り補修工事を実施した。 ・ 平成 17 年度に改修工事後屋根塗装を実施しておらず、色あせやサビが目立つ。
今後の方向性	・ 屋根の色あせやサビが目立つようになっているため、早急に塗装修繕を実施し、長寿命化を図る。 ・ 外壁に多くの亀裂が入っているので調査が必要である。

第4章 施設カルテ
《3 スポーツ・レクリエーション施設》

施設 No.51 町民小体育館

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	町民小体育館			所 管 課	社会教育課
所 在 地	四電字向町 220			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	335,055,000 円				
延床面積	1,338.42 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	47 年	経過年数	25 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	6,667 人	5,087 人	7,822 人	10,047 人	9,319 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00	9:00～22:00
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	8,870,633 円	34,552,382 円	9,001,435 円	9,234,763 円	9,241,356 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	町民小体育館天井落下防止補強改修工事	24,590,520 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・スポーツ少年団活動、社会人クラブ活動などで多くの方が利用している。
施設の現状	・外壁に多くの亀裂が入っている。
今後の方向性	・外壁に多くの亀裂が入っているので、調査が必要である。

施設 No.52 屋外運動場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	屋外運動場			所 管 課	社会教育課
所 在 地	四竜字杵木町 154-3			施設分類	スポーツ・レクリエーション施設
代表建築年度	昭和 55 年（1980 年）度				
建 築 費	7,125,000 円				
延床面積	90.87 ㎡				
構 造	鉄骨造 ほか				
耐用年数	38 年	経過年数	43 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	管理棟、倉庫、トイレ、ナイター照明塔、フェンス				

②利用・運営状況

		平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	運動場	4,797 人	6,660 人	6,877 人	9,100 人	8,333 人
	トイレ	4,759 人	4,782 人	3,958 人	4,184 人	3,572 人
職 員 数		－	－	－	－	－
運営方式		直営	直営	直営	直営	直営
運営時間		5:00～21:30	5:00～21:30	5:00～21:30	5:00～21:30	5:00～21:30
稼働日数（稼働率）		365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費		195,193 円	208,758 円	240,524 円	86,921 円	81,486 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	管理棟	・屋外運動場のグラウンド整備用具等を保管している。
	倉 庫	・屋外運動場のグラウンド整備用具等を保管している。
	トイレ	・屋外運動場・町民体育館利用者、スクールバス利用生徒児童などで多くの方が利用している。
	ナイター照明塔	・昭和 55 年度に健康増進を図るため、設置された。
	フェンス	・昭和 55 年度に健康増進を図るため、設置された。
施設の現状	管理棟	・耐用年数を経過した施設であり老朽化が進んでいる。
	倉 庫	・耐用年数を経過した施設であり老朽化が進んでいる。 ・また、色麻中学校野球部の用具も保管しており、手狭になっている。
	トイレ	・耐用年数を経過した施設である、 ・また、現状は和式トイレの便器で、バリアフリー化もされておらず利用者にとっては使用しにくい。
	ナイター照明塔	・照明器具は外され再設置の予定なし。鉄塔本体や基礎部分・キュービクル施設の劣化が見られる。
	フェンス	・フェンスの劣化が見られる。

第4章 施設カルテ

《3 スポーツ・レクリエーション施設》

今後の方向性	管理棟	・使用頻度は極めて少ないため、建て替えを行う必要はないが、屋根や外壁の塗装修繕を行う必要がある。
	倉庫	・建て替えを行う必要はないが、屋根や外壁の塗装修繕を行う必要がある。
	トイレ	・大会や行事があれば多くの方々が利用する。建て替えを行う必要はないが、外壁の塗装修繕を行う必要がある。
	ナイター照明塔	・安全面を考え撤去・解体する必要がある。
	フェンス	・安全面を考え交換修繕する必要がある。

4 保健・福祉施設

< 2 施設 >

施設 No.53 保健福祉センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	保健福祉センター			所 管 課	保健福祉課
所 在 地	四電字杉成 27-2			施設分類	保健・福祉施設
代表建築年度	平成 12 年（2000 年）度				
建 築 費	873,275,000 円				
延床面積	3,983.80 m ²				
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
耐用年数	50 年	経過年数	19 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	車庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	20,832 人	19,247 人	18,373 人	19,717 人	20,524 人
職 員 数	正 18 人 臨 3 人	正 18 人 臨 3 人	正 19 人 臨 3 人	正 18 人 臨 3 人	正 19 人 臨 3 人
運営方式	保健福祉センター 一部指定管理	一部指定管理	一部指定管理	一部指定管理	一部指定管理
	車 庫 直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	保健福祉センター 8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
	デイサービスセンター 8:00～18:00	8:00～18:00	8:00～18:00	8:00～18:00	8:00～18:00
稼働日数（稼働率）	309 日（85%）	310 日（85%）	310 日（85%）	308 日（84%）	273 日（75%）
運営経費	44,203,394 円	49,851,933 円	51,879,924 円	54,128,338 円	49,144,209 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 27 年度	保健福祉センター床修繕業務（デイサービスセンター 脱衣室・アプローチ）	730,080 円
平成 29 年度	保健福祉センター駐車場整備工事	1,188,000 円
平成 30 年度	中央監視装置等修繕業務	2,052,000 円
令和元年度	高圧機器等交換修繕業務	927,300 円
令和元年度	冷却塔廻り制御導電率計交換修繕業務	697,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	保健福祉センター	・保健福祉センターの愛称は「愛々童夢」で、町民の健康保持、健康意識の向上、高齢者・障がい者・児童の福祉向上及び保健福祉の連携を図る施設で、子どもから高齢者までの利用できる複合施設となっている。 ・選挙時は第 1 投票区の投票所として使用している。
	車 庫	・公用車の車庫として使用している。
施設の現状	保健福祉センター	・施設の老朽化に伴い修繕する箇所が増加傾向にある。 ・また、屋根塗装を実施しておらず、色あせやサビが目立つ。
	車 庫	・目立った劣化もなく良好に管理し、使用している。
今後の方向性	保健福祉センター	・機械設備等に係る保守点検の継続と、色あせが目立つ屋根塗装、老朽化している機械設備等の更新が必要である。
	車 庫	・定期的な点検を行いながら、適切に維持管理を行っていく。

施設 No.54 地域活動支援センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	地域活動支援センター			所 管 課	保健福祉課
所 在 地	四電字杉成 27-2			施設分類	保健・福祉施設
代表建築年度	平成 12 年（2000 年）度				
建 築 費	51,450,000 円				
延床面積	274.92 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	24 年	経過年数	19 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	1,379 人	1,138 人	1,628 人	1,345 人	1,259 人
職 員 数	臨 4 人	臨 4 人	臨 4 人	－	－
運営方式	直営	直営	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30	8:30～17:30
稼働日数（稼働率）	241 日（66%）	242 日（66%）	245 日（67%）	244 日（67%）	241 日（66%）
運営経費	7,215,372 円	7,422,691 円	7,754,027 円	9,180,885 円	9,308,058 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 障がい者の福祉向上と社会復帰に向けた日常生活訓練を行う活動施設として利用している。
施設の現状	・ 目立った劣化もなく良好に管理し、使用している。
今後の方向性	・ 定期的な点検を行いながら、適切に維持管理を行っていく。

5 子育て支援施設

< 3 施設 >

施設 No.55 清水保育所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	清水保育所			所 管 課	清水保育所
所 在 地	高城字上ノ原 11			施設分類	子育て支援施設
代表建築年度	平成 2 年 (1990 年) 度				
建 築 費	76,797,000 円				
延床面積	392.00 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	29 年		
耐 震 化	○	避 難 所	—		
付帯施設	倉庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
児 童 数	34 人	39 人	35 人	37 人	37 人
職 員 数	正 6 人 臨 7 人	正 8 人 臨 7 人	正 9 人 臨 8 人	正 9 人 臨 10 人	正 9 人 臨 8 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45	7:15~18:45
稼働日数 (稼働率)	294 日 (81%)	292 日 (80%)	292 日 (80%)	291 日 (80%)	289 日 (79%)
運営経費	67,446,350 円	73,923,253 円	82,194,686 円	78,113,452 円	78,625,801 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	倉庫屋根修繕工事	364,150 円
平成 29 年度	幼児室トイレ修繕工事	1,285,200 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	保育施設	・ 保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童施設である。対象となる乳幼児は、保護者が共働きなどの場合であり、0 歳児 (生後 6 ヶ月) から 2 歳児までとする。 ・ 保育業務の円滑な推進を図り、乳幼児が快適に過ごせるよう良好な保育環境を維持する。 ・ 保護者の多様なニーズに対応し、安心して子育てができる環境を提供する。 ・ 保育所を利用する乳幼児、保護者、職員が安全かつ安心して利用できる施設とする。
	倉 庫	・ 所庭整備や畑に使用する道具、畑の肥料など、児童の手に触れては危険なものを保管している。
施設の現状	保育施設	・ 安全で、安心して子育てができる環境を提供するため、施設の維持、整備を必要最小限の経費で運営している。 ・ 施設の老朽化に伴い修繕する箇所が増加傾向にある。
	倉 庫	・ 備え付けの倉庫だが、築 29 年が経過し、アルミ製の扉にはサビや腐食が見られる。
今後の方向性	保育施設	・ 町の施策として認定こども園の整備計画が検討中であり、認定こども園の整備完了した場合、本施設の有効活用や取り壊し等を検討する。
	倉 庫	・ 定期的な点検を行いながら、適切に維持管理を行っていく。

第4章 施設カルテ

《5 子育て支援施設》

施設 No.56 色麻保育所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	色麻保育所			所 管 課	色麻保育所
所 在 地	四電字二反田 5			施設分類	子育て支援施設
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	105,980,000 円				
延床面積	503.75 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
耐用年数	47 年	経過年数	37 年		
耐 震 化	○	避 難 所	○		
付帯施設	倉庫				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
児 童 数	40 人	36 人	45 人	45 人	42 人
職 員 数	正 9 人 臨 8 人	正 8 人 臨 8 人	正 10 人 臨 8 人	正 10 人 臨 9 人	正 10 人 臨 9 人
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	7:15～18:45	7:15～18:45	7:15～18:45	7:15～18:45	7:15～18:45
稼働日数（稼働率）	294 日（81%）	292 日（80%）	292 日（80%）	291 日（80%）	289 日（79%）
運営経費	86,276,416 円	83,024,191 円	88,363,006 円	89,167,498 円	88,874,942 円

※平成 28 年度より 6 ヶ月～2 歳未満児専用保育所となり、定員 60 人を改め 48 人とする。

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	外床タイル補修工事	430,920 円
平成 29 年度	所庭すべり台設置工事	599,400 円
令和元年度	事務室エアコン設置工事	383,400 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	保育施設	・保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童施設である。対象となる乳幼児は、保護者が共働きなどの場合であり、0 歳児（生後 6 ヶ月）から 2 歳児までとする。 ・保育業務の円滑な推進を図り、乳幼児が快適に過ごせるよう良好な保育環境を維持する。 ・保護者の多様なニーズに対応し、安心して子育てが出来る環境を提供する。 ・保育所を利用する乳幼児、保護者、職員が安全かつ安心して利用できる施設とする。
	倉 庫	・所庭整備や畑に使用する道具、畑の肥料など、児童の手に触れては危険なものを保管している。
施設の現状	保育施設	・安全で、安心して子育てができる環境を提供するため、施設の維持、整備を必要最小限の経費で運営している。 ・施設の老朽化に伴い修繕する箇所が増加傾向にある。
	倉 庫	・備え付けの倉庫だが、築 37 年が経過し、鉄製の扉にはサビや腐食が見られる。
今後の方向性	保育施設	・町の施策として認定こども園の整備計画が検討中であり、認定こども園の整備完了した場合、本施設の有効活用や取り壊し等を検討する。
	倉 庫	・定期的な点検を行いながら、適切に維持管理を行っていく。

施設 No.57 学童保育施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	学童保育施設			所 管 課	子育て支援室
所 在 地	四竜字狐塚 23			施設分類	子育て支援施設
代表建築年度	平成 27 年（2015 年）度				
建 築 費	57,996,000 円				
延床面積	296.22 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	27 年	経過年数	4 年		
耐 震 化	○	避 難 所	—		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	11,391 人	12,496 人	11,444 人	12,346 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	—	一部委託	一部委託	一部委託	一部委託
運営時間	—	平日 9:30～18:00 ※（7:30～18:00）	平日 9:30～18:00 ※（7:30～18:00）	平日 9:30～18:00 ※（7:30～18:00）	平日 9:30～18:00 ※（7:30～18:00）
稼働日数（稼働率）	—	287 日（79%）	287 日（79%）	285 日（78%）	284 日（78%）
運営経費	—	24,186,732 円	23,369,346 円	23,340,821 円	23,301,734 円

※土曜日、学校長期休業日の運営時間

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・保護者の就労等により日中留守家庭の子どもに、適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの健全育成を図る。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	・施設の利用者数の増加及び職員の休憩場所確保のため、増築を検討する。

6 産業系施設

< 5 施設 >

施設 No.58 林業機械保管庫

(1) 施設の概要

① 施設概要

施設名称	林業機械保管庫			所 管 課	産業振興課
所 在 地	王城寺字一ノ沢二番 1-1			施設分類	産業系施設
代表建築年度	平成 3 年（1991 年）度				
建 築 費	8,340,000 円				
延床面積	97.00 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	15 年	経過年数	28 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	林業保管庫（2 棟）				

② 利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	1,345 円	1,345 円	1,761 円	164,409 円	1,761 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	保管庫 1	・ 林業に関係する機械・工具類を保管している。
	保管庫 2	・ 林業で使用する刈払機等を保管している。
施設の現状	保管庫 1	・ 耐用年数が経過し、建物全体がサビている。
	保管庫 2	・ 耐用年数が経過し、建物全体がサビている。
今後の方向性	保管庫 1	・ 耐用年数が経過しているので安全性を考慮して安価なプレハブ等への建て替えも検討する。
	保管庫 2	・ 耐用年数が経過しているので安全性を考慮して安価なプレハブ等への建て替えも検討する。

施設 No.59 木工品加工場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	木工品加工場			所 管 課	産業振興課
所 在 地	王城寺字一ノ沢二番 1-1			施設分類	産業系施設
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度				
建 築 費	9,656,000 円				
延床面積	68.00 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	24 年	経過年数	36 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	20 人	20 人	20 人	20 人	20 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00	8:30～17:00
稼働日数（稼働率）	10 日（3%）	10 日（3%）	10 日（3%）	10 日（3%）	10 日（3%）
運営経費	209,967 円	217,885 円	177,467 円	228,815 円	191,855 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・木工品作製の加工場として利用している。
施設の現状	・耐用年数が経過し、建物全体がサビている。
今後の方向性	・耐用年数が経過しているので安全性を考慮して安価なプレハブ等への建て替えも検討する。

施設 No.60 畜産複合地域環境保全施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	畜産複合地域環境保全施設			所 管 課	産業振興課
所 在 地	黒沢字切付 7-14			施設分類	産業系施設
代表建築年度	昭和 58 年（1983 年）度				
建 築 費	344,547,800 円				
延床面積	4,040.31 ㎡				
構 造	鉄骨造 ほか				
耐用年数	31 年	経過年数	36 年		
耐 震 化	※ ○	避 難 所	－		
付帯施設	天日乾燥棟、糞尿処理棟、原料ホッパー棟、倉庫				

※耐震化：糞尿処理棟、原料ホッパー棟は旧耐震基準

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,208 人	2,208 人	2,208 人	2,208 人	2,208 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00	8:00～17:00
稼働日数（稼働率）	276 日（76%）	276 日（76%）	276 日（76%）	276 日（76%）	276 日（76%）
運営経費	132,625 円	132,625 円	133,751 円	133,751 円	133,751 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	天日乾燥棟	・土壌還元を軸とした家畜糞の適正な処理を推進し、家畜経営における環境の保全と耕種経営の土地生産力の維持増強を図り、地域社会との調和のとれた畜産の発展を目的としている。
	糞尿処理棟	
	原料ホッパー棟	
	倉 庫	
施設の現状	天日乾燥棟	・築 35 年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる。建物自体も歪んでおり、修復には多額の費用を要すると想定される。
	糞尿処理棟	
	原料ホッパー棟	
	倉 庫	
今後の方向性	天日乾燥棟	・今後、無償譲渡を含め、利用について再考していく。
	糞尿処理棟	
	原料ホッパー棟	
	倉 庫	

施設 No.61 地場産業振興施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	地場産業振興施設			所 管 課	産業振興課
所 在 地	四電字東原 1-12			施設分類	産業系施設
代表建築年度	平成 24 年（2012 年）度				
建 築 費	62,947,000 円				
延床面積	255.00 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	15 年	経過年数	7 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	26,455 人	23,771 人	24,479 人	23,162 人	23,420 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	11:00~21:30	11:00~21:30	11:00~21:30	11:00~21:30	11:00~21:30
稼働日数 (稼働率)	316 日 (87%)	316 日 (87%)	315 日 (86%)	314 日 (86%)	306 日 (84%)
運営経費	4,308,578 円	4,308,578 円	4,308,578 円	4,308,565 円	4,308,565 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・町の地域特例作物及び農産物等の調理、加工、販売等を行い、都市と農村の地域間交流と情報発信の拠点として活用することとし、町の地場産業の一層の振興に努める事を目的としている。
施設の現状	・施設の現状としては、建物本体は、7 年経過して損傷はあまり見えない状態である。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.62 一ノ沢肉用牛育成センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	一ノ沢肉用牛育成センター			所 管 課	産業振興課
所 在 地	王城寺字一ノ沢二番 1-17			施設分類	産業系施設
代表建築年度	昭和 57 年（1982 年）度				
建 築 費	30,610,000 円				
延床面積	274.00 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	37 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	管理棟、畜舎				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	－	256 人	316 人	498 人	338 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
運営時間	－	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	－	128 日 (35%)	158 日 (43%)	249 日 (68%)	169 日 (46%)
運営経費	1,967 円	1,967 円	2,018 円	2,018 円	2,018 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	管理棟	・放牧する事により牛の健康状態の向上、労働力の軽減を図ることにより本町における畜産の振興に資する事を目的としている。
	畜 舎	
施設の現状	管理棟	・畜舎、管理棟に関しては利用可能な状況ではあるが、老朽化が進んでいる。その他飲み水用のポンプが機能しておらず、牧柵についても断線している箇所がある。
	畜 舎	
今後の方向性	管理棟	・利用組合員の減少等により組合の再編について検討していくほか、重要が高まっているキャトルセンターの設置についても検討していく。
	畜 舎	

7 インフラ関連施設

<11 施設>

施設 No.63 保野川ダム管理施設

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	保野川ダム管理施設			所 管 課	産業振興課
所 在 地	小栗山字岳山 4-11			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	54,924,000 円				
延床面積	181.50 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	50 年	経過年数	20 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	管理棟、取水ゲート操作室、放流ゲート操作室、漏水管理室、給水棟				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	5,448,969 円	6,076,074 円	5,663,577 円	5,611,513 円	5,724,072 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	管理棟	・ 農業経営の安定の為に利水用ダムとして利用している。
	取水ゲート操作室	
	放流ゲート操作室	
	漏水管理室	
	給水棟	
施設の現状	管理棟	・ 建築後 20 年を経過しているが、劣化・破損等は見られない。
	取水ゲート操作室	
	放流ゲート操作室	
	漏水管理室	
	給水棟	
今後の方向性	管理棟	・ 定期的に巡視を行い、現状維持に努める。
	取水ゲート操作室	
	放流ゲート操作室	
	漏水管理室	
	給水棟	

施設 No.64 八原浄水場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	八原浄水場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	王城寺字八原 88-3、88-1			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 3 年（1991 年）度				
建 築 費	40,448,000 円				
延床面積	128.00 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	28 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	浄水場、 発電機室（八原第 2 井戸、八原第 3 井戸）				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	5,265,017 円	5,370,790 円	5,345,512 円	5,133,770 円	5,210,538 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
令和 2 年度	八原浄水場機械電気改修工事	71,500,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	浄水場	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・四竜区域に給水している。
	発電機室 (第 2 井戸)	・地下水源を確保し、安定的な水の供給を図る。
	発電機室 (第 3 井戸)	
施設の現状	浄水場	・供用開始から 28 年が経過しており老朽化が進んでいるが、目立った破損等は見られない。
	発電機室 (第 2 井戸)	・供用開始から 28 年が経過しており老朽化が進んでいるが、目立った破損等は見られない。
	発電機室 (第 3 井戸)	・供用開始から 28 年が経過しており老朽化が進んでいるが、目立った破損等は見られない。
今後の方向性	浄水場	・令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。
	発電機室 (第 2 井戸)	・令和 2 年度に電気設備の改修を行った。今後は定期的にメンテナンスをして適切に維持管理を行っていく。
	発電機室 (第 3 井戸)	・令和 2 年度に電気設備の改修を行った。今後は定期的にメンテナンスをして適切に維持管理を行っていく。

施設 No.65 日の出ポンプ場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	日の出ポンプ場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	四電字東原 21-11			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	昭和 62 年（1987 年）度				
建 築 費	924,000 円				
延床面積	7.00 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	15 年	経過年数	32 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	223,277 円	201,840 円	202,451 円	230,542 円	258,615 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・大原、南大の一部に給水している。
施設の現状	・耐用年数を経過しており老朽化が進んでいる。 ・内面の壁の劣化が見られる。
今後の方向性	・令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。

施設 No.66 大村浄化センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	大村浄化センター			所 管 課	建設水道課
所 在 地	大字新中堀添 102-3			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 8 年（1996 年）度				
建 築 費	254,854,000 円				
延床面積	193.81 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	23 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	15,783,121 円	15,759,717 円	15,973,961 円	16,598,277 円	16,794,515 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	大村浄化センター改修工事（機械電気）	2,899,800 円
平成 30 年度	大村浄化センター改修工事（機械電気）	40,586,000 円
令和元年度	大村浄化センター改修工事（機械電気）	25,340,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 町民の生活環境の改善を図り、快適な暮らしを実現するため、生活排水を浄化し、河川へ放流している。 ・ 処理区域は南大、北大、大原地区の一部である。
施設の現状	・ 供用開始から 23 年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。 ・ 雨樋の破損が見られる。
今後の方向性	・ 施設の老朽化が進んでいるため、随時補修等、適切な管理を行う。

施設 No.67 平沢浄水場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	平沢浄水場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	平沢字新早坂 53-1			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 26 年（2014 年）度				
建 築 費	6,355,000 円				
延床面積	41.00 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	5 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
運営経費	842,658 円	868,672 円	829,199 円	847,373 円	852,551 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・平成 27 年度より稼働を開始し、平沢地区に給水している。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	・日常及び定期の点検を行い、不備等があれば随時補修を実施し、施設の適切な管理運営に努める。

施設 No.68 新山浄水場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	新山浄水場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	高根字羽黒堂 3-1			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 13 年（2001 年）度				
建 築 費	19,430,000 円				
延床面積	72.00 m ²				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	18 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
運営経費	2,110,662 円	2,325,026 円	2,182,606 円	2,200,025 円	1,740,793 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・ 清水区域に給水している。
施設の現状	・ 供用開始から 18 年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。 ・ 側壁・底版の劣化が見られる。
今後の方向性	・ 令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。

施設 No.69 色麻浄化センター

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	色麻浄化センター			所 管 課	建設水道課
所 在 地	四電字新白山 29-1			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 11 年（1999 年）度				
建 築 費	233,580,000 円				
延床面積	704.67 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	50 年	経過年数	20 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	管理棟、汚泥ポンプ棟、井水ポンプ棟				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	委託	委託	委託	委託	委託
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	18,898,863 円	18,723,118 円	18,857,435 円	19,798,519 円	19,942,352 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	管理棟	・町民の生活環境の改善を図り、快適な暮らしを実現するため、生活排水を浄化し、河川へ放流している。
	汚泥ポンプ棟	
	井水ポンプ棟	
施設の現状	管理棟	・供用開始から 20 年が経過しており、施設の老朽化が進んでいるが、目立った破損等は見られない。
	汚泥ポンプ棟	
	井水ポンプ棟	
今後の方向性	管理棟	・施設の老朽化が進んでいるため、随時補修等、適切な管理を行う。 ・令和 2 年度にストックマネジメント計画（改修計画）を策定し、今後、浄化センターの改修工事（電気機械設備の更新）を計画している。
	汚泥ポンプ棟	
	井水ポンプ棟	

施設 No.70 小栗山浄水場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	小栗山浄水場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	小栗山字下桑畑 38-5			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 14 年（2002 年）度				
建 築 費	9,150,000 円				
延床面積	38.00 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	17 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	—	—	—	—	—
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
運営経費	411,676 円	376,408 円	391,553 円	465,413 円	413,397 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・小栗山区域に給水している。
施設の現状	・供用開始から 17 年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいるが、目立った破損等は見られない。
今後の方向性	・令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。

施設 No.71 王城寺浄水場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	王城寺浄水場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	王城寺字一ノ沢二番 1-1			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 25 年（2013 年）度				
建 築 費	165,711,000 円				
延床面積	72.00 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	6 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	6,432,921 円	6,288,430 円	6,289,674 円	6,598,289 円	6,557,725 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・平成 25 年度より稼働を開始し、宿地区、上郷地区に給水している。
施設の現状	・目立った破損等は見られない。
今後の方向性	・日常及び定期の点検を行い、不備等があれば随時補修を実施し、施設の適切な管理運営に努める。

施設 No.72 一の沢配水池

(1) 施設の概要

① 施設概要

施設名称	一の沢配水池			所 管 課	建設水道課
所 在 地	王城寺字一ノ沢二番 1-13			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	平成 3 年（1991 年）度				
建 築 費	43,245,000 円				
延床面積	279.00 m ²				
構 造	鉄筋コンクリート				
耐用年数	38 年	経過年数	28 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

② 利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数 (稼働率)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)	365 日 (100%)
運営経費	1,177,627 円	1,177,356 円	1,177,362 円	1,177,852 円	1,177,936 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・ 飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・ 八原浄水場から送水した水を一の沢配水池に貯め、四電区域に給水している。
施設の現状	・ 供用開始から 28 年が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。 ・ 手すりにサビによる破損が見られる。 ・ 屋根、外面防水の劣化が進んでいる。
今後の方向性	・ 令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。

施設 No.73 愛宕山送水ポンプ場

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	愛宕山送水ポンプ場			所 管 課	建設水道課
所 在 地	四電字東原 1-8			施設分類	インフラ関連施設
代表建築年度	昭和 42 年（1967 年）度				
建 築 費	2,352,000 円				
延床面積	14.00 ㎡				
構 造	コンクリートブロック				
耐用年数	34 年	経過年数	52 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間	24 時間
稼働日数（稼働率）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）	365 日（100%）
運営経費	188,198 円	199,060 円	186,059 円	185,410 円	182,457 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・飲料水の供給を行い、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る。 ・大原地区の一部に給水している。
施設の現状	・耐用年数を経過しており老朽化が進んでいる。 ・外壁等のひび割れ、扉の枠の劣化による破損等が見られる。
今後の方向性	・令和 2 年度よりアセットマネジメントを実施し、資産管理、劣化調査・耐震化診断を行い、更新需要を把握し、適切な設備投資を行うことで飲料水の安定的な供給に努める。

8 その他公共施設等

< 6 施設 >

施設 No.74 産業会館

(1) 施設の概要

① 施設概要

施設名称	産業会館			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字北谷地 41			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	平成 6 年（1994 年）度				
建 築 費	92,862,000 円				
延床面積	469.32 ㎡				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	30 年	経過年数	25 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



② 利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数 (件数)	860 人	856 人	869 人	840 人	824 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	貸付	貸付	貸付	貸付	貸付
運営時間	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15	8:30~17:15
稼働日数 (稼働率)	243 日 (67%)	243 日 (67%)	244 日 (67%)	244 日 (67%)	240 日 (66%)
運営経費	3,176,929 円	3,416,473 円	3,219,482 円	3,177,902 円	3,189,656 円

(2) 施設の状態 (施設の修繕・工事履歴)

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・平成 7 年 1 月 20 日から賃貸借契約により、色麻土地改良区及び加美商工会に貸付している。
施設の現状	・建設後 25 年以上経過しているため、屋根や外壁等に劣化が見られる。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.75 切付郵便局

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	切付郵便局			所 管 課	総務課
所 在 地	黒沢字北條 152			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	昭和 45 年（1970 年）度				
建 築 費	4,050,000 円				
延床面積	29.75 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	24 年	経過年数	49 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	2,430 人	2,430 人	2,440 人	2,440 人	2,400 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	貸付	貸付	貸付	貸付	貸付
運営時間	9:00～16:00	9:00～16:00	9:00～16:00	9:00～16:00	9:00～16:00
稼働日数（稼働率）	243 日（67%）	243 日（67%）	244 日（67%）	244 日（67%）	240 日（66%）
運営経費	2,693 円	2,693 円	2,692 円	240,292 円	2,692 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・平成 14 年 4 月 1 日から簡易郵便局として建物のみ貸付している。 ・加美農業高等学校の敷地内にあり、教職員や生徒、住民等が利用している。
施設の現状	・昭和 46 年建築で 49 年経過しているため、屋根の一部が劣化している。 ・過去事業としては、平成 30 年度に老朽化したエアコンを更新した。
今後の方向性	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

施設 No.76 旧大村分校

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧大村分校			所 管 課	総務課
所 在 地	大字上新町 122-2			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	昭和 23 年（1948 年）度				
建 築 費	84,909,000 円				
延床面積	586.00 ㎡				
構 造	木造 ほか				
耐用年数	22 年	経過年数	71 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	校舎、浴場、倉庫				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	直営	直営	直営	直営	直営
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	－	－	－	－	－
運営経費	256,293	114,152	62,148	62,148	62,148

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
	※軽微な修繕は行っているが、大規模な修繕・工事は未実施	

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	校 舎	- 旧大村分校は、明治 20 年 4 月に色麻尋常小学校大村分校として開校し、昭和 47 年 3 月に色麻小学校に統合されるまで学校施設として使用された。 - その後、昭和 47 年 10 月から平成 27 年 3 月までの 43 年間、民間企業に普通財産として貸付し、工場用施設として使用された。 - 現在は建物の老朽化が著しいため、使用していない。
	浴 場	旧大村分校の附属施設であり、現在利用していない。
	倉 庫	
施設の現状	校 舎	昭和 23 年建築で 71 年経過しているため、屋根や外壁、床板等の損傷が激しい。
	浴 場	旧大村分校と同様、建物全体が損傷している。
	倉 庫	
今後の方向性	校 舎	当該施設は、建物全体の損傷が激しいため、今後解体を検討する。
	浴 場	
	倉 庫	

施設 No.77 旧六の国農業共済組合色麻事務所

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧六の国農業共済組合色麻事務所			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字北谷地 95-1			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建 築 費	46,010,000 円				
延床面積	561.09 ㎡				
構 造	鉄筋コンクリート ほか				
耐用年数	50 年	経過年数	40 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	格納庫				

②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	—	—	900 人	3,100 人	3,080 人
職 員 数	—	—	—	—	—
運営方式	事務所	直営	貸付	貸付	貸付
	格納庫	直営	直営	直営	直営
運営時間	—	—	8:30～17:15	8:30～17:15	8:30～17:15
稼働日数（稼働率）	—	—	120 日（33%）	244 日（67%）	240 日（66%）
運営経費	1,331,384 円	2,924,883 円	14,547,772 円	1,029,565 円	1,042,138 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	旧六の国農業共済組合事務改修工事	11,901,600 円
平成 29 年度	旧六の国農業共済組合倉庫シャッター修繕	378,108 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	事務所	- 平成 17 年 2 月に、旧六の国農業共済組合から寄附を受けた。 1 階の一部を色麻町シルバー人材センターに無償貸付し、事務所（平成 29 年 10 月開設）として使用している。 - また、2 階は町の書庫として使用している。
	格納庫	- 平成 17 年 2 月に、旧六の国農業共済組合から寄附を受けた。 - 色麻町シルバー人材センターや町民生活課、産業振興課の資機材保管倉庫として使用している。
施設の現状	事務所	老朽化による雨漏れ等が発生したため、また、色麻町シルバー人材センターが開設されることに伴い、平成 29 年に改修工事を行った。
	格納庫	一部屋根等が劣化しているが、目立った破損等は見られない。
今後の方向性	事務所	定期的に巡視を行い、現状維持に努める。
	格納庫	定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.78 旧色麻機械化酪農農業協同組合倉庫

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	旧色麻機械化酪農農業協同組合倉庫			所 管 課	総務課
所 在 地	大字上新町 147-5			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	平成元年（1989 年）度				
建 築 費	7,446,000 円				
延床面積	122.39 m ²				
構 造	鉄骨造				
耐用年数	31 年	経過年数	30 年		
耐 震 化	○	避 難 所	－		
付帯施設	倉庫				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	－	－	－
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	直営	直営	直営	直営
運営時間	－	－	－	－	－
稼働日数（稼働率）	－	－	－	－	－
運営経費	245,718 円	3,375,262 円	247,125 円	247,125 円	247,125 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 28 年度	旧色麻町機械化酪農倉庫農業協同組合倉庫壁復旧工事	864,000 円
平成 28 年度	旧色麻町機械化酪農倉庫農業協同組合事務所解体工事	2,116,800 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・平成 28 年 5 月に、旧色麻機械化酪農農業協同組合から寄附を受け、災害用資機材の保管倉庫として使用している。
施設の現状	・平成元年 11 月に建設され 30 年以上経過しているが、目立った破損等は見られない。 ・過去事業として、平成 28 年度に組合事務所の解体、同年度に倉庫壁復旧工事を実施している。
今後の方向性	・定期的なメンテナンスをすることで長寿命化を図る。

施設 No.79 役場前旧店舗

(1) 施設の概要

①施設概要

施設名称	役場前旧店舗			所 管 課	総務課
所 在 地	四電字北谷地 61-13			施設分類	その他公共施設等
代表建築年度	昭和 54 年（1979 年）度				
建 築 費	3,417,000 円				
延床面積	34.71 ㎡				
構 造	木造				
耐用年数	22 年	経過年数	40 年		
耐 震 化	－	避 難 所	－		
付帯施設	なし				



②利用・運営状況

	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)
利用者数（件数）	－	－	324 人	550 人	936 人
職 員 数	－	－	－	－	－
運営方式	－	－	貸付	貸付	貸付
運営時間	－	－	不定期	不定期	不定期
稼働日数（稼働率）	－	－	36 日（10%）	50 日（14%）	78 日（21%）
運営経費	0 円	0 円	1,516,819 円	760,418 円	4,418 円

(2) 施設の状態（施設の修繕・工事履歴）

実施年度	修繕・工事名	修繕・工事費
平成 29 年度	役場前旧店舗改修工事	1,479,600 円
平成 30 年度	役場前旧店舗屋根改修工事	756,000 円

(3) 施設の現状と方向性

利用目的	・平成 28 年 12 月に、個人から寄附を受けた。 ・平成 29 年 7 月に、加美商工会へ地域活性化交流施設として貸付している。
施設の現状	・老朽化により屋根や雨樋等の破損が著しい状況であったため、平成 29 年と平成 30 年に改修工事を行った。
今後の方向性	・定期的に巡視を行い、現状維持に努める。

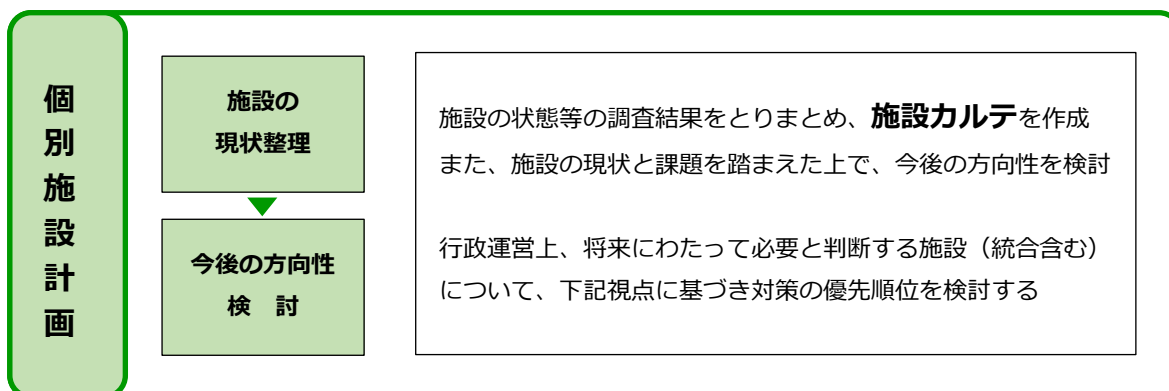
第5章 対策の優先順位の考え方

1 優先順位の考え方

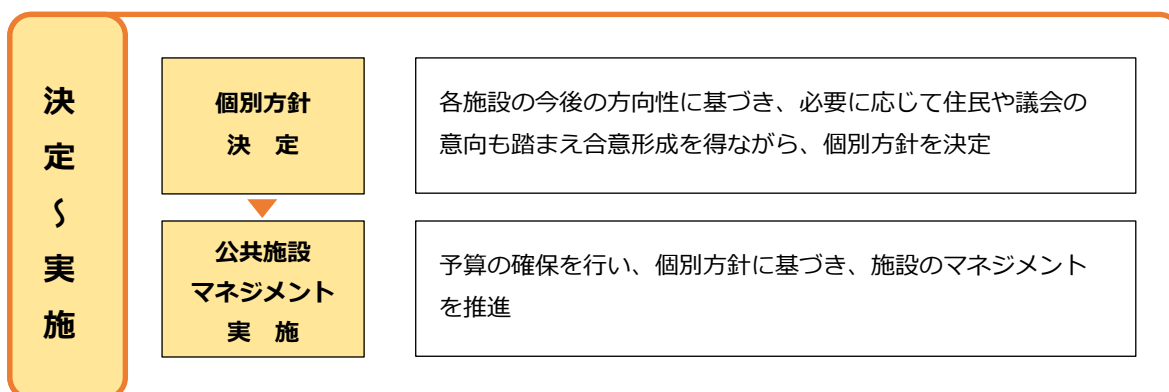
本計画で示した個別施設ごとの今後の方向性を基に、行政運営上、将来にわたって必要と判断する施設について、財政状況を考慮しながら、施設の安全性・機能性・経済性・代替性・社会性などの視点から、今後の保全等にかかる優先順位を検討します。また、必要に応じて住民や議会等とも合意形成を得て方針決定を行い、計画的に予算を確保し、施設のマネジメントを進めます。

ただし、継続利用が必要な公共施設等で、安全性が損なわれている施設や機能性が著しく低下している施設については、優先的に改修等を実施する方針とします。

<優先順位の考え方>



視 点	優先順位を高める要因
安全性	・ 放置しておくことで利用者に直接・間接の物理的被害や大きな施設の滅失が予見されるもの ・ 敷地周辺に悪影響（騒音・振動・著しい美観の喪失等）を与えており、解消が求められるもの ・ 改修により施設の長寿命化・耐震化等、安全性の確保が明らかに見込まれるもの
機能性	・ 設置当初の本来の要求事項が満たせなくなっており、その改善を行うもの ・ 避難場所等に指定されており、災害発生時を想定し健全な状態を特に維持しておくことが必要と判断されるもの
経済性	・ 予防保全により、将来のライフサイクルコストの低減が見込まれる状況にあるもの
代替性	・ 施設や機能として替えが効かない、または故障時に部品等の確保が困難なもの
社会性	・ 住民・社会のニーズの変化により、利用者満足度を満たせなくなったもの ・ 環境負荷低減に貢献するもの



第6章 対策の実施方針

1 施設点検の基本方針

建築基準法第12条に基づく法定点検のほかに、本計画の策定にあたって作成した「老朽化簡易診断調査票」を使用して、所管課職員等による簡易的な施設点検を定期的を実施することで、不具合・危険箇所の早期発見に努めるとともに、各施設の劣化・損耗の状態を把握して予防保全につなげるものとします。

また、社会環境の変化や機能集約により廃止を予定するもの以外の施設については、「長寿命化」を対策の基本方針とし、施設の法定耐用年数を目安に専門家等による老朽化診断を実施して、診断結果に基づき具体的な改修計画を立案します。

＜点検サイクル案＞

点検・診断		R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
法定点検	建築基準法第12条	○	○	○	○	○	○	○
簡易点検	所管課職員等	○	○	○	○	○	○	○
老朽化診断	専門家（一級建築士等）	長寿命化を検討する施設を順次診断						

第6章 対策の実施方針

<老朽化簡易診断調査票>

調査票(老朽化簡易診断)

基本情報

施設番号		建物番号		調査年月日	
施設名称				調査員	
建物名称				所管課	
施設分類		延床面積	㎡	建築日	
構造		耐用年数	年	耐震診断	
主/付帯		経過年数	年	耐震改修	

I. 点検項目(躯体)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1. 屋根・屋上	☐ 降雨時に雨漏りがある	☐ 保護防水(屋上に塗られる)	
	☐ 天井等に雨漏り跡がある	☐ 上記以外の屋上	
	☐ 防水層に膨れ等がある	☐ 勾配屋根(金属板葺等)	
	☐ 屋根材に錆・損傷がある	☐ その他の屋根	
	☐ 屋根・屋上を目視点検できない		
2. 外壁	☐ 鉄筋等が見えているところがある	☐ 石・タイル張り	
	☐ 外壁から漏水がある	☐ コンクリート	
	☐ タイルや石が剥がれている	☐ 吹付け	
	☐ 外壁・基礎等に大きな亀裂がある	☐ その他の外壁	
	☐ 塗装の剥がれがある		
	☐ 外部手すり等が錆・腐朽している		
3. 外部開口部	☐ 窓・ドアの周りで漏水がある	☐ 普通サッシ・単板ガラス	
	☐ 窓・ドアに錆が多くみられる	☐ 断熱サッシ・省エネガラス	
	☐ 窓・ドアに歪みがあり開閉できない	☐ 防音サッシ	
4. 室内	☐ コンクリートの床・壁に亀裂がある	☐ 高い天井の大空間	
	☐ 天井が破損し、落下の危険がある		
	☐ 床仕上材に使用上の支障がある		
5. 外構	☐ 地盤沈下による不具合がある	☐ 組積造・CB造の塀	
	☐ 塀・擁壁に倒壊の危険がある	☐ 擁壁	
	☐ 塗装に凹凸が多く崩壊の危険がある	☐ フェンス	

II. 点検項目(躯体以外)

部位	劣化状況 (複数回答可)	仕様 (該当する場合のみ)	修繕 (当年度)
1. 電気設備	☐ 機器が全面的に錆びている	☐ 埋め込み型照明	
	☐ 照明器具落下の危険がある	☐ 吊り下げ型照明	
	☐ 機器が頻繁に故障する	☐ 特殊設備(高圧、蓄電池等)	
	☐ その他の指摘がある	☐ 自家発電設備(太陽光含む)	
2. 給水設備	☐ 水質・水量等で使用に支障がある	☐ 直結方式(ポンプ、水槽等なし)	
	☐ 給水ポンプで異音、漏水がある	☐ ポンプ、受水槽、高置水槽	
	☐ その他の指摘がある		
3. 排水設備	☐ 衛生器具等で使用に支障がある	☐ 下水道接続	
	☐ 排水ポンプで異音、漏水がある	☐ 浄化槽	
	☐ その他の指摘がある		
4. 空調設備	☐ 空調機器等で使用に支障がある	☐ 個別方式	
	☐ 異音、異臭、漏水がある	☐ 中央方式	
	☐ その他の指摘がある		
5. その他設備	☐ 通常使用に支障がある	☐ エレベーター等の昇降機	
	☐ 頻繁に故障する	☐ 機械式駐車設備	
	☐ その他の指摘がある	☐ 融雪装置	

III. その他、要望等があれば自由に記入してください。

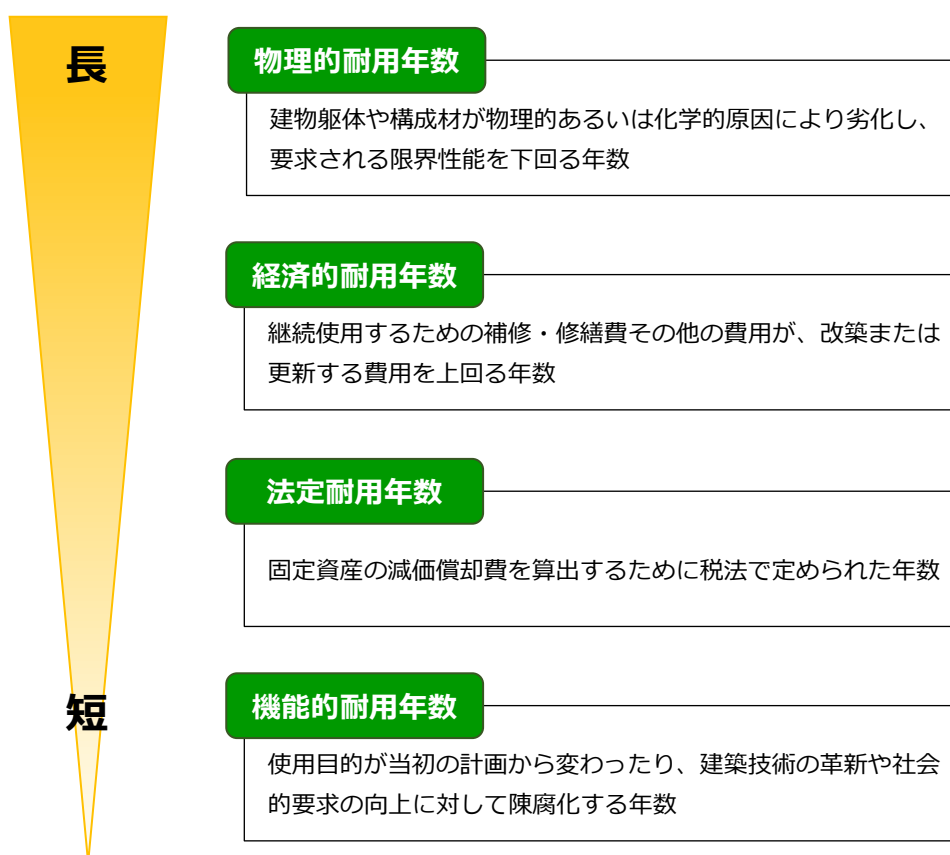
2 長寿命化の基本方針

(1) 建築物の耐用年数の考え方

建築物の耐用年数には、様々な基準や考え方があります。一般的に耐用年数は、「機能的耐用年数＜法定耐用年数＜経済的耐用年数＜物理的耐用年数」となりますが、これまでの施設の寿命は、最短の機能的耐用年数に近かったのが現状です。

しかし、今後、すべての公共施設等を機能的耐用年数を基準に建替えることは財政制約上困難であり、計画的に保全整備を行うことにより施設を長寿命化して供用期間を延ばし、最長の物理的耐用年数に出来る限り近づけることで、ライフサイクルコストの低減を目指します。

<建築物の耐用年数の考え方>



(2) 目標使用年数

公共施設等の長寿命化の目標として、施設使用の計画期間である「目標使用年数」を設定します。

目標使用年数は、施設の計画的な保全を実施するために設定するもので、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考に、本計画では建築物の物理的耐用年数まで使用し続けることを原則とし、目標使用年数を構造別に下表のとおりとします。

<目標使用年数>

構 造	耐用年数	
	代表値	目標使用年数
(A) 鉄筋コンクリート・鉄骨造	60 年	80 年
(B) 木造・コンクリートブロック	40 年	50 年

※ 基本的には「建築物の耐久計画に関する考え方」に示されている目標耐用年数の最大値（普通品質の場合）を設定しますが、コンクリートブロックは小規模施設が多いため 50 年とします。

<建築物全体の望ましい目標耐用年数の級>

用 途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通の品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通の品質 の場合			
学校・官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅・事務所・病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗・旅館・ホテル	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

<目標耐用年数の級の区分の例>

級	目標耐用年数		
	代表値	範 囲	下限値
Y ₀ 150 以上	150 年	120 ～ 200 年	120 年
Y ₀ 100 以上	100 年	80 ～ 100 年	80 年
Y ₀ 60 以上	60 年	50 ～ 80 年	50 年
Y ₀ 40 以上	40 年	30 ～ 50 年	30 年
Y ₀ 25 以上	25 年	20 ～ 30 年	20 年

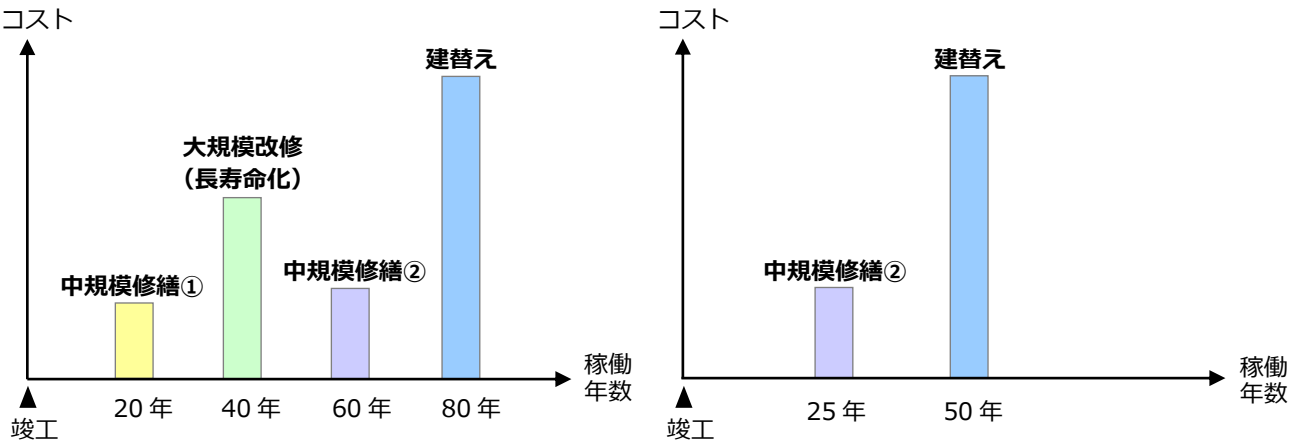
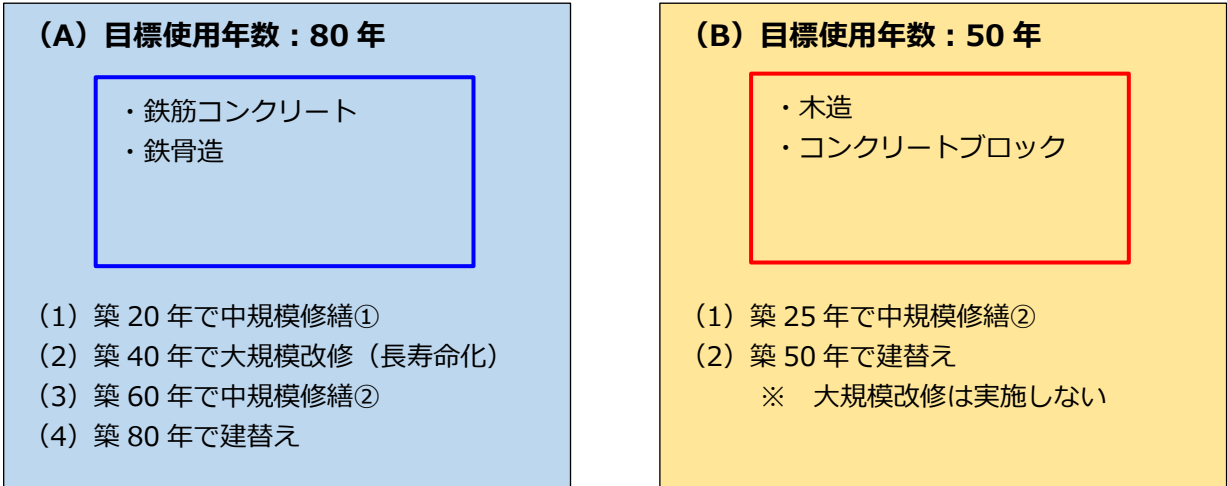
出典：日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」

※ Y₀：目標耐用年数の級を表す記号

(3) 改修時期の考え方

建築物を構造別の目標使用年数まで長寿命化するために、定期的な改修サイクルを設定して計画的に予防保全を実施し、施設の安全性・機能性を維持します。構造別の主な改修時期のイメージと工事内容の例は以下のとおりとします。

＜改修時期のイメージ＞



＜工事内容の例＞

中規模修繕①	中規模修繕②	大規模改修（長寿命化）	
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事		経年劣化による機能回復工事と、耐用性・快適性・省エネ性を確保するための機能向上工事	
・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 等		・屋上防水改修 ・外壁改修 ・トイレ改修 ・内装改修 ・設備機器改修 ・劣化の著しい部位の修繕 ・故障・不具合修繕 等	・コンクリート中性化対策 ・鉄筋の腐食対策 ・バリアフリー改修 ・外壁・屋上の断熱化改修 ・省エネルギー機器への更新

※工事内容の例は参考にしたものであり、上表以外の内容でもそれぞれの工事の目的に合致するものであれば実施できるものとします。

3 対策費用の試算

(1) 対策費用のシミュレーション方法

本計画で各施設の「今後の方向性」として示した対策内容を実施した場合の効果を推計するため、本計画の対象施設の修繕・改修・建替え等工事費用について、以下の2つのケースでコストのシミュレーションを行いました。

ケース①：全ての施設を現状規模のまま維持した場合

（全ての施設を築30年で大規模改修、築60年で建替えを行って、現状の規模を維持）

※総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」を使用して試算

ケース②：施設ごとに長寿命化・建替え・解体撤去等の対策を実施した場合

（構造ごとの目標使用年数まで長寿命化・建替え・解体撤去等を実施）

(2) 対策費用のシミュレーション条件

対策費用のシミュレーションにおける条件の詳細は、以下のとおりとします。

<シミュレーション条件>

項 目		条 件	
更新費用の推計額		事業費ベースでの計算	
計算方法		延床面積×更新単価	
更新単価		次頁の更新単価表のとおり	
<ケース①> 全ての施設を現状規模のまま維持した場合	耐用年数	60年	
	大規模改修	建築後30年（期間：2年間）	
	建替え	建築後60年（期間：3年間）	
	改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）	・改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 ・今後10年以内に建替え時期を迎える施設は、建替えまでの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の改修費用は計上しない	
<ケース②> 施設ごとに長寿命化・建替え・解体撤去等の対策を実施した場合	構 造	・鉄筋コンクリート ・鉄骨造	・木造 ・コンクリートブロック
	目標使用年数	80年	50年
	中規模修繕①	建築後20年（期間：1年間）	実施しない
	大規模改修	建築後40年（期間：2年間）	実施しない
	中規模修繕②	建築後60年（期間：1年間）	建築後25年（期間：1年間）
	建替え	建築後80年（期間：3年間）	建築後50年（期間：3年間）
	解体撤去	施設ごとに個別に時期を設定（期間：1年間）	
修繕／改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）		・修繕／改修／建替え時期を超過している施設（積み残し分）は、今後10年以内に工事を実施するものとして、延床面積×更新単価の1/10の額を10年間にわたって計上 ・今後10年以内に次の工事（修繕／大規模改修／建替え）時期を迎える施設は、次の工事までの間は小規模修繕等により使用するものとして、積み残し分の修繕／改修費用は計上しない	

<更新単価表>

(万円/㎡)

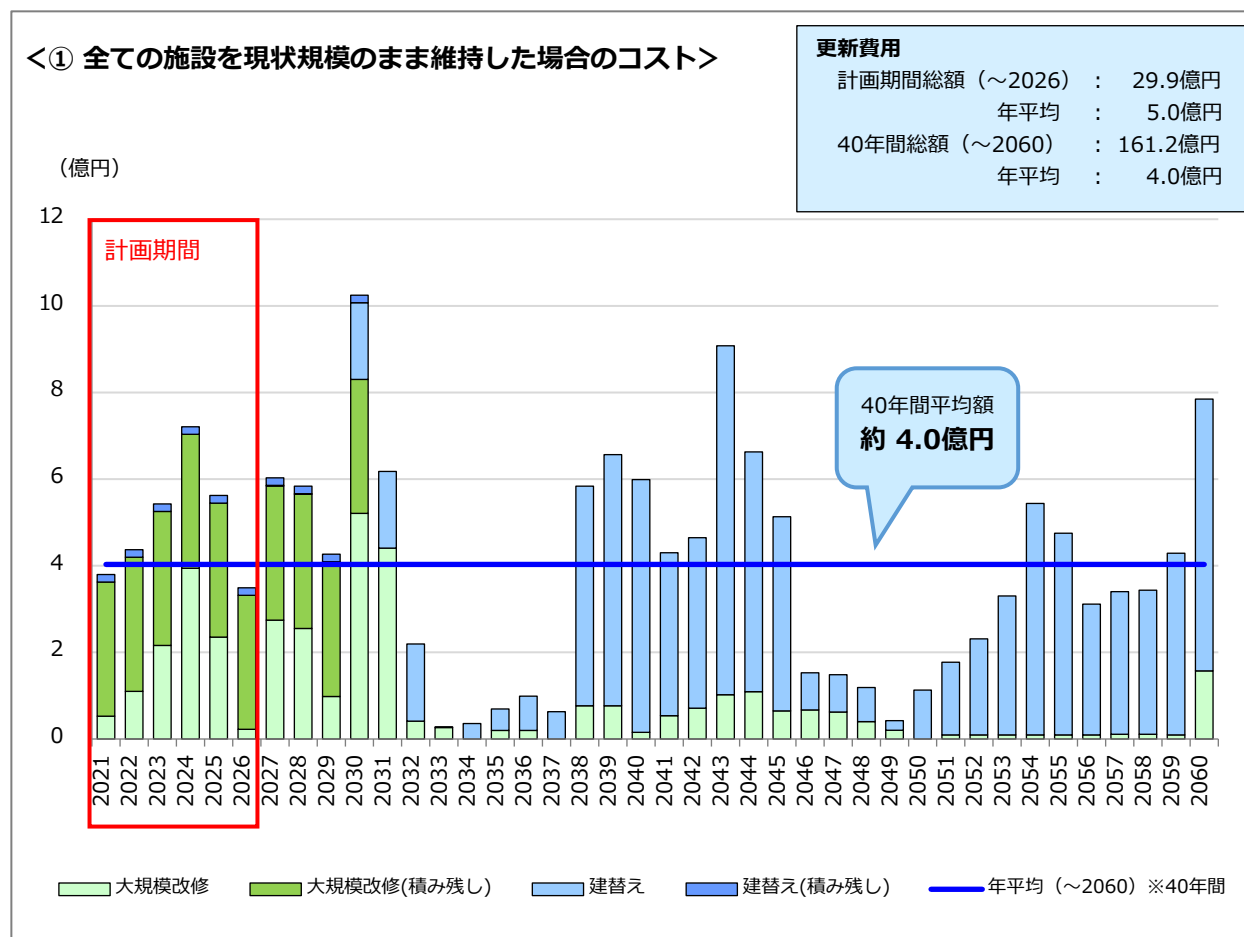
施設分類	更新区分別単価				
	中規模修繕①	大規模改修	中規模修繕②	建替え	解体撤去
行政施設	10	25	12	40	2.8
町民文化系施設	10	25	12	40	
スポーツ・レクリエーション施設	9	20	11	36	
保健・福祉施設	9	20	11	36	
子育て支援施設	8	17	10	33	
産業系施設	10	25	12	40	
インフラ関連施設	9	20	11	36	
その他公共施設等	9	20	11	36	

【解説】

- ・大規模改修及び建替えの更新単価は、総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」における標準単価を採用しました。(建替えに伴う解体、仮移転費用、設計料等については上記単価に含むものとして想定)
- ・中規模修繕①は建替えの約 25%、中規模修繕②は建替えの約 30%の更新単価として試算しました。
- ・解体撤去の費用は、「公共施設等の解体撤去事業に関する調査結果」(平成 25 年 12 月・総務省)を参考に単価を設定しました。

(3) ケース①：全ての施設を現状規模のまま維持した場合

全ての施設を現状規模のまま維持するものとして、施設の構造に関わらず、一律築 30 年で大規模改修、築 60 年で建替えを行う条件で将来の概算更新費用をシミュレーションすると、本計画の計画期限である令和 8 年度（2026 年度）までの 6 年間で必要となる費用の総額は約 29.9 億円（年平均：約 5.0 億円）、また今後 40 年間で必要となる費用の総額は約 161.2 億円（年平均：約 4.0 億円）の試算結果となります。



＜ケース① 更新費用＞

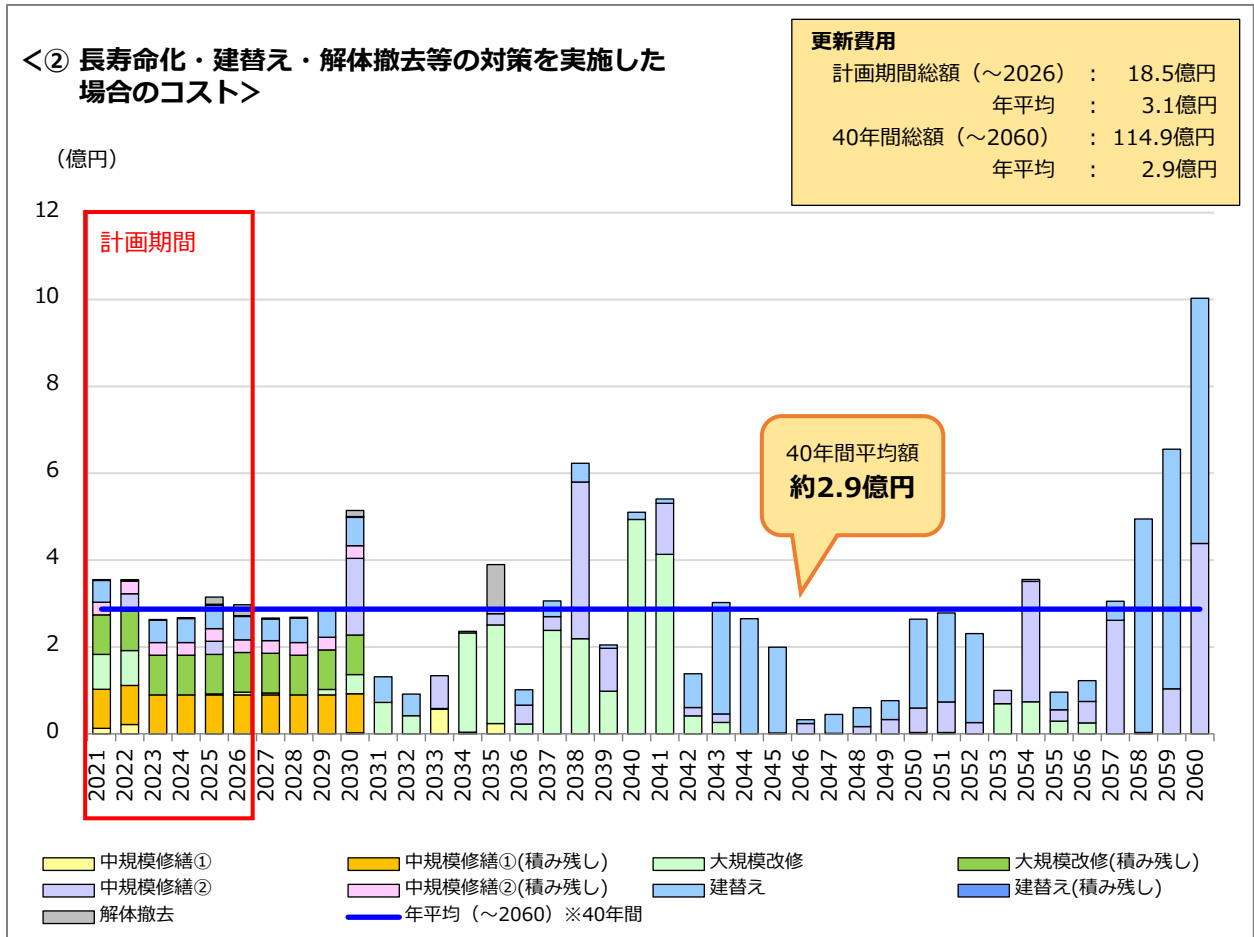
(千円)

更新区分	計画期間（6 年間）		40 年間	
	2021～2026 年度	年平均	2021～2060 年度	年平均
大規模改修	1,030,692	171,782	3,735,016	93,375
積み残し	1,856,382	309,397	3,093,971	77,349
建替え	0	0	9,118,772	227,969
積み残し	104,328	17,388	173,880	4,347
合 計	2,991,403	498,567	16,121,638	403,041

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(4) ケース②：施設ごとに長寿命化・建替え・解体撤去等の対策を実施した場合

本計画で各施設の「今後の方向性」として示した長寿命化・建替え・解体撤去等の対策内容を実施した場合の概算更新費用をシミュレーションすると、本計画の計画期限である令和8年度（2026年度）までの6年間で必要となる費用の総額は約18.5億円（年平均：約3.1億円）、今後40年間で必要となる費用の総額は約114.9億円（年平均：約2.9億円）の試算結果となります。



<ケース② 更新費用>

(千円)

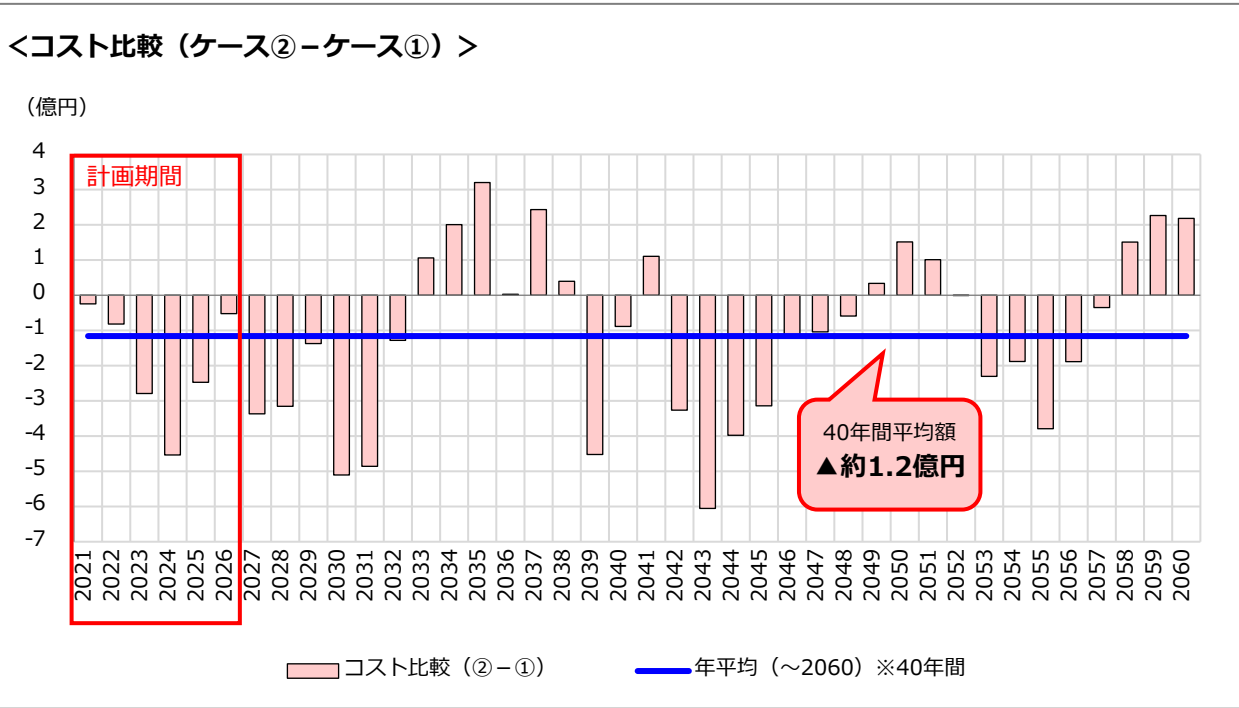
更新区分	計画期間（6年間）		40年間	
	2021～2026年度	年平均	2021～2060年度	年平均
中規模修繕①	34,209	5,702	120,389	3,010
積み残し	539,177	89,863	898,628	22,466
大規模改修	168,741	28,124	2,558,120	63,953
積み残し	547,222	91,204	912,036	22,801
中規模修繕②	70,061	11,677	2,460,767	61,519
積み残し	174,605	29,101	291,008	7,275
建替え	265,480	44,247	4,056,135	101,403
積み残し	11,826	1,971	19,710	493
解体撤去	41,713	6,952	168,688	4,217
合計	1,853,034	308,839	11,485,480	287,137

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(5) ケース①とケース②の比較

ケース①とケース②の更新費用試算額を比較すると、本計画で検討した各施設の「今後の方向性」に基づき、ケース②で各施設の長寿命化・建替え・解体撤去等の対策を実施することにより、本計画の計画期限である令和8年度（2026年度）までの6年間では約11.4億円（約38.1%）、40年間では約46.4億円（約28.8%）の費用縮減を図れる見込みであることを示しています。

今後、施設の利用状況や老朽化状況に基づき、具体的な対策の優先順位を検討してコストの平準化を図り、町全体として質・量ともに適正な公共施設等の配置を実現することで、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進していきます。



<コスト比較> (千円)

試算ケース		計画期間（6年間）		40年間	
		2021～2026年度	年平均	2021～2060年度	年平均
①	全ての施設を現状規模のまま維持した場合	2,991,403	498,567	16,121,638	403,041
②	施設ごとに長寿命化・建替え・解体撤去等の対策を実施した場合	1,853,034	308,839	11,485,480	287,137
コスト比較（②－①）		▲ 1,138,369	▲ 189,728	▲ 4,636,158	▲ 115,904
縮減率		▲ 38.1%	▲ 38.1%	▲ 28.8%	▲ 28.8%

※数値は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

色麻町個別施設計画

令和 3 年 3 月

発行 色麻町
企画・編集 色麻町 総務課

〒981-4122

宮城県加美郡色麻町四竈字北谷地 41 番地

TEL : 0229-65-2111 (代表)

FAX : 0229-65-2685